

目次

プロジェクトデータ 2007-2016

- 4 ▶つなげるための『好朋友』
中国の日本語教育サポート
- 10 ▶人に迫る
日本の情報発信
- 13 ▶ヒントはそこに
授業に役立つ素材の提供
- 13 ▶小さな町に生き続ける日本語
米国の日本語教育サポート
- 14 ▶仲間と机を並べる
中国語と韓国語の教師研修
- 16 ▶外国語教育に新しい役割を
外国語学習のめやすプロジェクト
- 21 ▶先生もチャレンジャー
小中高校の教師研修
- 24 ▶はじめの一步
隣語講座
- 25 ▶「話してみたい」ができる
韓国語学習者のサポート
- 26 ▶違うようで同じ、同じようで違う
日中韓フォーラム
- 27 ▶ノボシビルスクに行ってみた
日露交流
- 28 ▶校長の出番です
日中・日韓の校長交流
- 30 ▶咱们サマキャン見！
日中の高校生交流
- 32 ▶ソウルでダンス・ダンス・ダンス
日韓の中高生交流
- 33 ▶自分でやるんですか？
協働を生み出すプログラムの開発
- 35 ▶脳みそ焦げそう
CMづくりワークショップ
- 35 ▶つながるでつながる
世界の中高生の交流ウェブサイト
- 37 ▶レンズがくれたことば
世界の高校生の撮影交流
- 37 ▶ありのままのわたし、ここにいます
高校生の写真ウェブサイト
- 38 ▶知らないことに会おうワクワク感を
りんごをかじろう
- 39 ▶背中を押す贈り物
りんご記念日
- 40 ▶知ってください、私たちのこと
広報

刊行物 2007-2016

- 41 刊行物
- 46 国際文化フォーラム通信、事業報告、CoReCa 特集一覧

▶のプログラムについては「Tracks」を参照してください。
※敬称略、五十音順。団体名・所属・肩書きはすべて事業実施時のものです。

プロジェクトデータ

2007-2016

▶つなげるための『好朋友』 中国の日本語教育サポート

中国の中学校における第二外国語としての日本語教育促進。①第二外国語としての日本語用教材『好朋友』および教師向け指導書、ウェブサイト制作②指導案開発③教師研修開催④日本語教育実施校の管理職招聘⑤記念事業実施⑥シンポジウム開催⑦図書・教材の寄贈

〈教材・指導書・ウェブサイト制作〉

●第二外国語用日本語教材『好朋友』(試行版、全5巻)制作

期間：2006/11～2010/9 場所：中国・大連、東京 助成：アクセンチュア(株)、(財)かめのり財団、セコム(株)(第1、2巻)、(社)尚友倶楽部、(財)東芝国際交流財団(第3～5巻)、(財)三菱銀行国際財団、(財)三菱UFJ国際財団

編集委員会：[中国側]張涛(大連教育学院副院長)*、張玲(大連市第30中学)、金尚筭(大連市金州区教師進修学校日本語担当指導主事)、宋曉峰(大連市第16中学)、楚喬(大連教育学院国際交流センター職員、第3～5巻)、森田淳子(青年海外協力隊員・大連市第1中学、第1、2巻)**、楊慧(大連教育学院日本語担当指導主事)、李芷苓(大連市第34中学) [日本側]今井なをみ(日本語教育専門家)**、大船ちさと(日本語教育専門家、第3巻～5巻)、加納陸人(文教大学教授)*、中新井綾子(日本語教育専門家)、藤光由子(日本語教育専門家、第3巻～5巻は編集アシスタント) *委員長、**編集アシスタント

内容：日中両言語で中学生の友情を描くストーリー漫画「大連物語」を各巻に分載し、全5巻B5判で中国・北京の外語教学与研究出版社から発行、大連市内の中学校に配付。第1巻126ページ、2007年8月刊、5,000部、第2巻128ページ、2008年3月刊、6,200部、第3巻128ページ、同年8月刊、6,000部、第4巻120ページ、2009年6月刊、5,300部、第5巻128ページ、同年9月刊、5,300部

●『好朋友』日中合同編集会議開催(中国側編集委員招聘)

期間：2008/3/21～26 場所：東京、神奈川、埼玉 助成：(財)三菱銀行国際財団

参加者：[日本側]大船ちさと、加納陸人、中新井綾子 [中国側]張玲、金尚筭、宋曉峰、楊慧、李芷苓

内容：中国側編集委員を日本に招聘、合同編集会議を開催。墨田区立両国中学校、横浜市立港中学校訪問、日本文化体験

●第二外国語用日本語教材『好朋友』第1巻、第2巻を希望者に寄贈

買い上げ時期/規模：2011/3 /『好朋友』(試行版)第1巻、第2巻各3,000冊 2017/3 /『好朋友』第1巻、第2巻各3,000冊 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

内容：第二外国語としての日本語教育実施校、実施予定校からの申請にもとづき寄贈

●好朋友web

運営：2011/11～

内容：『好朋友』使用のための教師向けサイト。①ストーリー漫画「大連物語」転載②世界で日本語を学ぶ中高生と日本の中高生を動画と画像で紹介する「世界の中高生に会おう！」③漫画の背景を解説する「Enjoy！マンガ！！」④簡単な日本語表現を動画と音声で学ぶ「かんたん日本Go！」⑤漫画の説明、活動カード、各課の指導書を掲載した「教師のための好朋友」

●『好朋友』教師向け指導書制作

期日：2014/3、8 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

内容：第1巻用指導書『好朋友教学実践指南』(A4判、140ページ、2014年3月刊、300部)と第2～5巻用『好朋友教学実践指南 極』(A4判、244ページ、2014年8月刊、300部)を制作。各課の目標、授業のヒント、学習活動のねらい、授業経験者の指導事例を所収

〈指導案開発〉

●優秀教育実践例表彰(最優秀受賞者の招聘)

期間：2008/5/9～15 場所：東京、神奈川、千葉 助成：(財)三菱UFJ国際財団

受賞者：張秀美(大連格致中学)、陳敏(大連市第33中学)

内容：大連市の日本語教師を対象に教育実践例を募集し、最優秀賞の2名を副賞として日本へ招待。日本滞在中は墨田区立両国中学校視察、横浜中華街散策、箱根で温泉体験、ディズニーランド体験

●モデルカリキュラム作成

期間：2013/2～2014/2 助成：(公財)三菱UFJ国際財団 協力：大連教育学院(中国研修のみ)

研修日程：[日本]2013/2/15～21 [中国]2013/12/4～7

研修講師：[日本]武田育恵(日本語教育専門家、大連市弘文中学)、中新井綾子(日本語教育専門家、好朋友編集委員) [中国]武田育恵

メンバー：[遼寧省]安新華(大連市向心中学)、梅松竹(大連市第76中学)、王穎(大連市第31中学) [吉林省]白艶菊(長春市第11高中) [黒龍江省]朴英姫(ハルビン市朝鮮族第1中学)

内容：『好朋友』を使った5名の教師がモデルカリキュラムを作成し、埼玉、中国・大連の研修でそれぞれのカリキュラムについて検討。完成した案を『好朋友教学実践指南』に掲載。講師は『好朋友』編集委員と、授業で『好朋友』を長く使っている教師

〈教師研修〉

●2007大連市中学校日本語教師研修

期間：2007/8/17～23 場所：中国・大連 主催：大連教育学院、TJF 助成：(財)かめのり財団、(社)尚友倶楽部 協力：国際交流基金会北京事務所 後援：在瀋陽日本国総領事館在大連出張駐在官事務所、JICA中国事務所、大連市教育局

講師：[日本側]加納陸人*、神山讓(大連市第87中学)、齊藤都(遼寧省基礎教育研究教師研修センター)、立花秀正(中日友好大連人材研修センター)**、中新井綾子**、宮村さおり(青年海外協力隊員・大連市第30中学)、森田淳子 [中国側]張玲、金尚筭、宋曉峰、楊慧、李芷苓 *主任講師、**副主任講師

参加者：39名

内容：第一外国語か第二外国語か、日本語のレベルは初級か中級かを踏まえて4つのクラスに分け、「総合言語運用能力」を習得するための日本語教育方法について研修。第二外国語として日本語を担当する教師のクラスでは、『好朋友』の理念や方針についての講義と『好朋友』を使った授業設計のワークショップを実施

●2008大連市中学校日本語教師研修

期間：2008/7/29～8/7 場所：中国・大連 主催：大連教育学院、TJF 助成：(財)三菱UFJ国際財団 協力：国際交流基金北京日本文化センター 後援：在瀋陽日本国総領事館在大連出張駐在官事務所、JICA中国事務所、大連市教育局

講師：[日本側] 今井なをみ(早稲田大学日本語教育研究センター教員)、大船ちさと、加納陸人*、亀井徹哉(青年海外協力隊員・鶏東県朝鮮族中学)、齊藤都、須々田木実(青年海外協力隊員・五原県第3中学)、立花秀正、中新井綾子、二又結美(青年海外協力隊員・赤峰学院附属中学)、宮村さおり [中国側] 張玲、金尚筭、宋曉峰、楚喬、楊慧、李芷苓 *主任講師

参加者：45名

内容：日本語力と教授法の向上、『好朋友』ワークショップ

●大連市中高校日本語教師の訪日研修

期間：2009/1/28～2/3、3/14～20 場所：東京、横浜、京都 主催：大連市教育局 実施：大連教育学院 助成：(財)三菱UFJ国際財団 協力：TJF

参加者：張秀美(大連市第31中学)、鄒淑静(大連市旅順口区第3高級中学)、李晨(大連市第16中学)、林茂慧(大連市向応中学)

内容：3/15～16の京都研修のために、情報収集、企画、手配。フリーマーケット買い物体験、日本語教育を学ぶ大学生と交流、学校見学

●好朋友ワークショップ

期間：2010/8/22～23 場所：中国・瀋陽 主催：遼寧省基礎教育研究教師研修センター、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

講師：今井なをみ、金尚筭、中新井綾子

参加者：遼寧省、吉林省、黒龍江省の日本語教師37名

内容：第二外国語としての日本語教育の意義と目的の共有。『好朋友』と教授方法に関する意見交換

●好朋友経験交流会

期間：2011/3/26～27 場所：中国・長春 主催：吉林省教育学院 共催：黒龍江省教育学院、遼寧省基礎教育研究教師研修センター、TJF 助成：(財)かめのり財団、(公財)三菱UFJ国際財団

講師：武田育恵、中新井綾子

参加者：吉林省、黒龍江省、遼寧省の校長、日本語教師および指導主事、計43名

内容：『好朋友』使用校の管理職が第二外国語としての日本語実施の意義と実施方法について意見交換。二外日本語担当教師の経験交流および日本語教育専門家による研修

●東北三省二外日本語教師・遼寧省日本語教師研修

期間：2011/12/23～25 場所：中国・瀋陽 主催：遼寧省基礎教育研究教師研修センター、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

講師：曾麗雲(元遼寧省日本語指導主事)、武田育恵、中新井綾子 ファシリテーター：栗野藍(青年海外協力隊員・瀋陽市朝鮮族第2中学)、神山譲、田中陽子(青年海外協力隊員・撫順市新賓満族自治県朝鮮族中学)、前川紘子(青年海外協力隊員・瀋陽市朝鮮族第1中学)、山崎望未(青年海外協力隊員・大連市第30中学)

参加者：遼寧省、吉林省、黒龍江省の日本語教師および指導主事、計70名

内容：『好朋友』を使った授業の実践報告、「外国語の授業で大切なこと」について意見交換、グループでの学習活動づくり、日本文化体験(おにぎりづくり、ラジオ体操)

●大連市日本語教師研修

期間：2012/8/29～30 場所：中国・大連 主催：大連教育学院、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

講師：武田育恵、中新井綾子

参加者：22名

内容：大連在住日本人へのインタビューで大連とのつながりを見つけるグループワーク

●東北三省日本語教師研修

期間：2012/10/26～28 場所：中国・ハルビン 主催：黒龍江省教育学院、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

講師：武田育恵、中新井綾子 ファシリテーター：神戸明子(青年海外協力隊員・ハルビン師範大学)

参加者：黒龍江省、吉林省、遼寧省の日本語教師および指導主事、計40名

内容：『好朋友』についての講義、ハルビン在住日本人へのインタビューでハルビンとのつながりを見つけるグループワーク

●好朋友ワークショップ

期間：2013/8/18～20 場所：中国・長春 主催：吉林省教育学院、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

講師：武田育恵

参加者：吉林省、遼寧省の日本語教師、計25名

内容：『好朋友』を使った活動の実践報告、長春在住日本人へのインタビューで長春とのつながりを見つけるグループワーク

●中国中高校日本語教師研修

期間：2014/9/12～13 場所：中国・西安 主催：中等日本語課程設置校工作研究会、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

講師：武田育恵、林洪(北京師範大学副教授)

参加者：30名

内容：授業設計に関する講義、西安在住日本人へのインタビューで西安とのつながりを見つけるグループワーク

●日本語教師向けワークショップ「日本文化を取り入れた活動を考える」

期日：2014/11/15 場所：中国・大連 主催：大連教育学院、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

講師：鎌田美保(日本語教育専門家)

参加者：25名

内容：授業実践例や実物教材の紹介、日本文化体験(おにぎりづくり、ラジオ体操)

●中国中高校日本語教師研修

期間：2015/8/22～23 場所：中国・長沙 主催：中等日本語課程設置校工作研究会、TJF 助成：(公財)東芝国際交流財団、(公財)三菱UFJ国際財団

講師：武田育恵、林洪

参加者：30名

内容：「文化を捉える視点と日本語の授業における文化の扱い方」についての講義、参加者の授業における文化の扱い方についてグループ討論、日本文化を取り入れた活動案作成

●中国中等日本語教師研修

期間：2017/3/24～25 場所：中国・上海 助成：(公財)三菱UFJ国際財団 協力：中国教育学会外国語教学專業委員会日語部会、中等日本語課程設置校工作研究会 会場協力：上海市工商外国語学校

講師：武田育恵、林洪

参加者：53名

内容：「教科書『を』教える」から「教科書『で』教える」への転換をテーマに講義とグループワーク

〈東北三省教育代表団招聘〉

●遼寧省教育代表団招聘

期間：2007/9/18～24 場所：東京、横浜、栃木 助成：(財)三菱銀行国際財団

参加者：日本語教育の拠点都市丹東、北票、凌原、阜新と遼寧省の教育行政幹部、日本語教育拠点校の校長、計7名

内容：神奈川県教育委員会および横浜市教育センター、中国語教育を実施している東京・私立関東国際高等学校、遼寧省の小学校と交流している新宿区立大久保小学校の訪問

●大連市教育代表団招聘

期間：2007/10/29～11/4 場所：東京、神奈川 助成：(財)三菱銀行国際財団

参加者：大連市教育局国際交流担当主幹、大連市中学の管理職、計4名

内容：横浜市立港中学校、墨田区立両国中学校訪問、都内見学

●黒龍江省教育代表団招聘

期間：2010/5/18～23 場所：東京、神奈川 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

参加者：黒龍江省教育庁、各区教育局の幹部、中学校管理職、計9名

内容：神奈川県教育委員会、神奈川・私立聖光学院中学校高等学校訪問、箱根観光、買い物体験

●遼寧省教育代表団招聘

期間：2010/6/9～14 場所：東京、神奈川、京都 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

参加者：遼寧省基礎教育研究教師研修センター日本語指導主事、中学部副主任、日本語教育モデル校管理職4名、計6名

内容：神奈川県教育委員会、中国語教育を実施している横浜市立みなと総合高等学校および神奈川・私立横浜雙葉中学・高等学校訪問、都内見学、箱根観光、京都見学

●吉林省教育代表団招聘

期間：2011/11/28～12/3 場所：東京、埼玉、山梨 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

参加者：吉林省教育学院院長、中等教育部主任、事務主任、日本語指導主事、日本語教育モデル校管理職2名、計6名

内容：中国語教育を実施している東京・私立早稲田大学高等学院、埼玉県立戸田翔陽高等学校訪問、温泉体験、買い物体験

●遼寧省教育代表団招聘

期間：2012/2/19～23 場所：東京、埼玉 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

参加者：遼寧省基礎教育研究教師研修センター日本語指導主事1名、日本語教育モデル校管理職8名、計9名

内容：中国語教育を実施している埼玉県立南稜高等学校および東京・私立豊島岡女子学園中学校・高等学校訪問、都内見学、買い物体験

●黒龍江省教育代表団招聘

期間：2012/10/1～5 場所：東京、埼玉 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

参加者：黒龍江省の外国語教育リーダー4名、ハルビン市日本語教育拠点校校長1名、計5名

内容：埼玉県教育庁、中国語教育を実施する埼玉県立戸田翔陽高等学校訪問、都内見学、買い物体験

〈記念事業〉

●好朋友完成記念「好朋友特使」中学生の大連派遣

期間：[事前研修]2009/9/20、10/4、12/28、2010/1/8、3/9 [大連派遣]2010/3/26～31(3/26は

オリエンテーション) 場所：東京、中国・大連 主催：(財)かめのり財団 実施：TJF 協力：[日本側]神奈川県教育委員会、神奈川県公立中学校長会、(財)神奈川県私立中学高等学校協会、川崎市教育委員会、川崎市立中学校長会、横浜市教育委員会、横浜市立中学校長会 [中国側]大連教育学院、大連市教育局、大連市第31中学、大連市第37中学、市内日本語教育実施中学校 輸送協力：ANA

参加者：神奈川県内の中学生7名

内容：神奈川県、横浜市、川崎市教育委員会と公私立の校長会の協力を得て募集、書類選考と面接で参加者決定。事前研修では、横浜を紹介する「横浜マップ」を作成。大連では、受け入れ校である大連市第31中学の生徒と市内見学、家庭訪問。大連市第37中学で、市内で日本語を学ぶ中学生と交流

●国際文化フォーラム・大連教育学院共同10周年記念事業

期間：2015/10/30～31 場所：中国・大連 主催：大連教育学院、TJF 助成：(公財)三菱UFJ国際財団

研修講師：武田育恵、林洪

研修参加者：101名

内容：日本語教育促進に貢献した学校と教師の表彰、学習者発表会、教師研修を実施。研修では、「目標設定と学習活動の設計」に関する講義、『好朋友』を使った授業の実践報告、グループで『好朋友』を使った授業の目標設定と活動案作成

〈シンポジウム〉

●グローバル人材の育成と多様な外国語教育—日本語教育から可能性を探る—

期間：2014/4/12～13 場所：中国・上海 主催：国際交流基金北京日本文化センター、中国教育学会外国語教学専門委員会、TJF 助成：(一社)尚友倶楽部、(公財)三菱UFJ国際財団 協力：上海甘泉外国語中学 後援：在上海日本国総領事館

登壇者：[基調講演者]林游嵐(全米中小学中文教師協会執行長) [パネリスト]王崇梁(国際交流基金日本語国際センター専任講師)、胡玉華(北九州市立大学教授)、徐一平(北京外国語大学教授、北京日本学術研究センター主任)、唐磊(課程教材研究所教授)、劉国華(上海甘泉外国語中学校長)

参加者：中国の小中高校の校長、外国語教育担当責任者、日本語教師など120名

内容：米国におけるグローバル人材育成に必要な教育について林氏の基調講演。日本の多言語教育の状況、中国の中等教育における二外日本語教育の現状、多言語教育実施校の実践に関する報告をもとにパネルディスカッション。日本語担当教師向けワークショップを実施

〈図書・教材の寄贈〉

●中国の大学へ図書寄贈

時期/寄贈先/規模：2013年度/34大学/10,883冊、2014年度/37大学/10,914冊、2015年度/26大学/12,860冊、2016年度/22大学/11,114冊

内容：講談社より発行図書の寄贈を受け、(公財)日本科学協会の事業に協力して、中国で日本語専門コースを持つ大学に各大学の希望にそった形で贈呈

●「好朋友日本文化体験基地」へ教材寄贈

時期/寄贈先：2015年度/大連市第31中学 助成：(一社)尚友倶楽部

内容：生徒や地域の人びとが日本の文化を体験できる「好朋友日本文化体験基地」に、浴衣やけん玉、ひな人形、絵本、写真集、詩集やエッセイ集を寄贈

▶人に迫る 日本の情報発信

日本語、英語、中国語、韓国語で日本の情報を発信するウェブサイト「くりっくにっぽん」を運営。ウェブサイトの活用促進のため、国内外でワークショップを開催。英語圏向けにメルマガ「Click Nippon News」を配信、中国向けに微博(Weibo)公式ページ「点击日本」で記事配信するほかFacebook公式ページを開設。2つの大学でくりっくにっぽんの記事づくりのプロセスを学生が体験することに協力

●くりっくにっぽんウェブサイト

運営：2009/1～日本語版、英語版、中国語版開設、2012/10 リニューアル、2013/3～韓国語版開設

●くりっくにっぽん「My Way Your Way」記事作成

テーマ	内容
ファッションで自己表現	「白塗り」で描くマイワールドー津野氏(大学生) 高校生リアルトーク：おしゃれをすると気分が上がるー優花、さち、楓、はなこ Seifukuを世界へ！ー相浦孝行(制服販売会社社長)
ことばの力	日常を切り取る一万象(高校2年生) 詩で心を伝えるー良太(中学3年生) 未来をひらくー和合亮一(詩人)
アイドルは好きですか？	なりたかった「私」爆発！ーみさきんぐ、まり、さおりーな・しもんchu 自ら輝くギニューーしゅんしゅん(ギニュー特戦隊) アイドルとファンとガクモンとーダイスケ(大学4年生)、みさき(大学3年生)
「デコ」で気持ちを伝える	スイーツデコで人とつながるーみゃあこ(中学3年生) 「ひと手間」で昨日と違う文房具を！ー宇田川一美(雑貨デザイナー) 父、「キャラ弁」を作るー荒尾圭(会社員)
夢をあきらめない	パラリンピックにかける思いー秋山里奈(2012ロンドンパラリンピック金メダリスト) チャンスをかすー池田樹生(高校2年生) 聞こえなくなっても音楽は楽しめる！ー木村正明、鈴木俊祐、山本智久、成田佳絵(BRIGHT EYES super-duper)
伝統は新しい	ストリート発Kendama!ー河本伸明(けん玉パフォーマンス) トライ&エラーで作り出すー西田シャトナー(折り紙アーティスト)
妖怪に魅せられて	怪談を観光にかすー小泉凡(民俗学者) 妖怪から広がる世界ー多田克己(妖怪研究者) 怪談は楽しむものー首藤大空(大学1年生)
「聖地」をつくれ！	ジーンズで世界をめざすー真鍋寿男(デニム製品製造・販売会社社長) 妖怪が暮らす町ー榎田知身(境港市観光協会会長) 【番外編】「聖地」に行こう！ー野瀬亘理、小野口太一(大学生)
身近なものでアート	捨てられるものからアートを生み出すー山田ゆか(アーティスト) コルクで人物画を描くー久保友則(ソムリエ) 新聞紙とガムテープで彫刻を作るー関口光太郎(アーティスト) 消しやすくて絵を彫刻に転換するー入江早耶(アーティスト)
Dance with Life	もっと自由に踊りたいー大前光市(義足プロダンサー) 赤髪で踊り続けたいーただのん(ニコ動踊り手) みんなで踊る「よさこい」ー優輔、梨香子(大学生)
人間に迫る	感性を持った人工知能を作るー松原仁(人工知能研究者) 初音ミクの誕生ー佐々木渉(初音ミク開発者) 人間とは何かー石黒浩(ロボット研究者)

●くりっくにっぽん紹介

期日	場所	参加者	発表者
2013年度			
7/3	豪州・パース	西オーストラリア州日本語教師会メンバー	
7/4	豪州・パース	パースモダンスクールの生徒	
7/4	豪州・パース	セントノベルトカレッジの生徒	
7/6	豪州・キャンベラ	全豪現代言語教師会(AFMLTA)のセッション参加者	西村パーク葉子(ニューサウスウェールズ州教育省日本語教育専門家)、藤光由子(西オーストラリア州教育省日本語アドバイザー)
7/8	豪州・キャンベラ	豪州日本研究大会(JSAA)のセッション参加者	古閑綾子(国際交流基金派遣日本語助手)、西村パーク葉子、藤光由子
2015年度			
4/18	豪州・メルボルン	ビクトリア州日本語教師会年次大会(JLTAV)のセッション参加者(ニュージーランド日本語教師会会長など4名の招聘者を含む)	西村パーク葉子
2016年度			
7/12	NZ・ネルソン	ニュージーランド外国語教師大会のセッション参加者	発表者：トゥルーディ・ウィッグ(ミッションハイイツジュニアカレッジ)、アダム・バードン(リンフィールドカレッジ)、原田明子(ニュージーランド教育省)、ミッシェル・ロッジ(ポタニーダウンスセカンダリースクール)
7/15	NZ・クライストチャーチ	カンタベリー大学日本語クラス学生	
11/5	豪州・メルボルン	全豪日本語教育シンポジウムのセッションの参加者	西村パーク葉子、ニコルス潤子

内容：My Way Your Wayと365分の1の2つのコーナーを紹介。教師向けには、実物教材の意義と、先生コーナー、検索の仕方、実践例なども紹介

●くりっくにっぽんワークショップ

期日	場所	主催・共催・協力	助成	参加者数	講師・報告者
2013年度					
7/12	豪州・シドニー	主催：TJF 協力：国際交流基金シドニー日本文化センター		13名	講師：西村パーク葉子
12/28	韓国・ソウル	主催：国際交流基金ソウル日本文化センター、TJF	(一社) 尚友倶楽部	15名	報告者：イ・ヨンミ(水原外国語高等学校)、キム・ヘリム(佳林高等学校)、ファン・ヘジン(勤善高等学校)
12/30	韓国・釜山	主催：TJF 協力：国際交流基金ソウル日本文化センター、釜山韓日文化交流協会	(一社) 尚友倶楽部	15名	報告者：鄭芝恩(耕慧女子高校)

2014/ 3/29	韓国・大田	主催：韓国日本語教育研究会 共催：TJF	(一社) 尚友倶楽部	70名	
2014年度					
5/24	韓国・慶州	主催：慶尚北道日本語教育研究会 協力：TJF	(一社) 尚友倶楽部	43名	報告者：鄭芝恩
7/21	韓国・ソウル	主催：国際交流基金ソウル日本文化センター、TJF 協力：ソウル日本語教育研究会	(一社) 尚友倶楽部	6名	講師：鎌田美保(国際交流基金ソウル日本文化センター日本語教育専門家)
7/22	韓国・清州	主催：国際交流基金ソウル日本文化センター、TJF 協力：忠清北道日本語教育研究会	(一社) 尚友倶楽部	16名	講師：鎌田美保
10/9 ～17	豪州・シドニー、ノースコースト、メルボルン	主催：TJF 協力：国際交流基金シドニー日本文化センター、ニューサウスウェールズ州教育省、ピクトリア州日本語教師会	(一社) 尚友倶楽部	71名	講師：西村パーク葉子 報告者(メルボルンのみ)：パロズ良重(ロレトカレッジ)
11/22	韓国・釜山	主催：韓日交流協会、国際交流基金ソウル日本文化センター、釜山日本語教育研究会 協力：TJF	(一社) 尚友倶楽部	18名	講師：金孝卿(大阪大学准教授)
11/27	豪州・パース	主催：CEOWA(カソリック教師会) 協力：TJF	(一社) 尚友倶楽部	40名	講師：西村パーク葉子
11/28	豪州・パース	主催：パースモダン高校 協力：TJF	(一社) 尚友倶楽部	67名	講師：西村パーク葉子
2015年度					
11/7	フィリピン・マニラ	主催：国際交流基金マニラ日本文化センター、TJF		22名	講師：フロリダ A. パルマヒル(マニラ日本文化センター日本語教育プログラムコーディネーター)

内容：My Way Your Wayと365分の1の2つのコーナーの紹介。現地の専門家による実物教材の意義についての講義、くりっくにっぽんを活用した授業の実践報告、グループにわかれて記事を使った授業案作成

●Facebook公式ページClick Nippon

運営：2012/10～ ファン数：470名(2017年3月現在)

内容：くりっくにっぽんの最新記事を日英2言語で紹介

●微博公式ページ「点击日本」

運営：2015/8～ ファン数：550名(2017年3月現在)

内容：くりっくにっぽん中国語版の最新記事、日本で暮らす中国人留学生が発見した日本、中国語学習者が詠んだ五・七・五の漢俳を配信

●Click Nippon News

配信：2015/12～、月2回 登録者数：1,900名(2017年3月現在)

内容：くりっくにっぽんの記事を授業に取り入れるヒントを紹介

●ときめき取材記ウェブサイト

運営：2016/9～

内容：くりっくにっぽんの「My Way Your Way」の記事づくりのプロセスに関心のある先生に協力し、学生たちが気になる人にインタビューしてまとめた記事を掲載

▶ヒントはそこに

授業に役立つ素材の提供

海外の日本語、国内の中国語や韓国語の授業に役立つ素材を、情報誌、ウェブサイト、メールマガジンで発信

●TJF Photo Data Bank

運営：[日本編]2001/5～2010、3,800枚収録 [中国編]2004/9～2010、2,000枚収録

内容：日本語や中国語の授業に役立つ素材として、写真を教育目的に限り無償で提供。2010年に写真共有サイトFlickrに移行

●情報誌『Takarabako』『ひだまり』

発行：[ひだまり]1999/10～2011/9、年4回刊、1,800部 配布先：中国の中高校の日本語教師 [Takarabako]2004/9～2011/9、年4回刊、6,000部 配布先：英語圏の小中高校で日本語教育、日本理解教育、国際理解教育に携わる教師

内容：その時々話題のなかで、テーマパークや鉄道など特に海外の中高生が興味をもつものを取り上げ、日本の小中高生へのインタビュー記事を掲載。「Takarabako」「ひだまり」ウェブサイトを開設し、誌面の内容を掲載

●情報誌『小溪』

発行：1999/4～2011/1、年4回刊、1,000部 配布先：日本の高校の中国語教師、大学の中国語教師

内容：中国語の授業に役立つ素材・情報を掲載

●Ringoメルマガ

配信：2011/2～2014/6、不定期 登録者数：550名

内容：中国語・韓国語教育をはじめとする外国語教育の関連情報を紹介。メルマガ「わやわや」創刊をもって終了

●Ringoウェブサイト

運営：2011/6～2015/4(更新終了)

内容：中国や韓国の文化を写真と文章で紹介、中国語・韓国語教師や高校で中国語や韓国語を学んだ先輩のエッセイを紹介

▶小さな町に生きる日本語

米国の日本語教育サポート

小学校、中学校、高校と一貫した日本語教育を実施している米国ウィスコンシン州メナーシャ市から代表団を招聘。2011年度から3年度にわたる野間佐和子記念寄付を実施

〈メナーシャ市の代表団の招聘〉

●第1回

期間：2010/10/24～30 場所：東京、群馬、広島 助成：(社)尚友倶楽部

参加者：メナーシャ合同学区教育長、日本語教育を実施している小中高校の各校長、計4名

内容：東京都立大崎高等学校、北区立王子小学校、北区立王子桜中学校、北区教育委員会訪問、東京都立青山高等学校にて一日校長体験、広島訪問(平和祈念資料館、宮島見学)、前橋市教育委員会訪問

●第2回

期間：2012/3/31～4/6 場所：東京、神奈川、高知、千葉、栃木 助成：(社)尚友倶楽部

参加者：日本語教育を実施している小中高校の日本語教師各1名、校長1名、計4名

内容：子ども狂言発表会見学など日本文化体験、千葉県立若松高等学校、高知・私立明德義塾中学校・高等学校、日光市立三依中学校を訪問し、日米学校交流について会合、港区立青山小学校始業式と入学式を見学

〈野間佐和子記念寄付〉

●特別寄付

時期：2011～2013年度

内容：(株)講談社から各年度200万円を特別寄付としてメナーシャ市教育局に贈呈。メナーシャ側はこの寄付金を、日本文化を体験する遠足、オンライン日本語教育プログラムの開発、World Language Fairの開発、プロジェクト型学習年間指導計画の改訂に充当し、年度毎にTJFに報告

▶仲間と机を並べる

中国語と韓国語の教師研修

日本の高校で中国語、韓国語を教えている教師を対象に、国内外各地で実施

〈中国語〉

●高等学校中国語担当教員研修

期 間：2007/7/23～8/13、2008/7/27～8/17、2009/7/26～8/9、2010/7/25～8/6、2011/7/24～8/5、2012/7/24～8/6 場所：中国・長春(吉林大学、2007年度のみ長春と北京) 主催：中国教育部、国家漢弁、文部科学省、TJF 助成(2010～2012年度)：漢語橋基金

講師：[2007～2009年度] 邵壯(吉林大学講師)、張吉平(吉林芸術学院副教授)、張晋濤(吉林大学講師)、宋暉(吉林大学講師)、田萍(長春市歴史編纂委員会研究員)、禹平(吉林大学教授)、李軼(吉林大学講師)、劉富華(吉林大学教授)*、呂文傑(吉林大学講師)、王琛(吉林大学助教)、汪海洋(吉林大学助教) [2010年度] 葉玉純(吉林大学講師)、邵壯、秦日龍(吉林大学講師)、田萍、福井啓子(吉林大学研究生)、黃玉花(吉林大学教授)、楊磊(吉林大学外部講師)、李軼、李丹(吉林大学外部講師)、劉富華*、劉立成(吉林大学講師)、呂文傑 [2011年度] 葉玉純、邵壯、秦日龍、黃玉花、楊磊、岳輝(吉林大学教授)、李軼(吉林大学副教授)、李丹、劉富華*、呂文傑、王琛(吉林大学講師) [2012年度] 葉玉純、計瓊(吉林大学外部講師)、邵壯、秦日龍、田萍、黃玉花、楊磊、岳輝、李軼、劉富華*、劉立成、呂文傑、王冠婷(吉林大学外部講師)、王琛*主任講師 アシスタント：[2007～2009年度] 福井啓子、葉玉純(吉林大学助教)

参加者：14名(2007年度)、20名(2008年度)、15名(2009～10年度)、11名(2011年度)、22名(2012年度)
内容：発音、文法、作文、コミュニケーション表現についての講義、マンツーマンの発音矯正、グループ討論

●高校中国語教員研修

期間：2007/8/10～14 場所：神奈川 主催：桜美林大学孔子学院、TJF 後援：神奈川県教育委員会、在日本中国大使館教育処、東京都教育委員会、文部科学省

講師：植村麻紀子(埼玉県立和光国際高等学校講師)、藤井達也(埼玉県立伊奈学園総合高等学校教諭)、禹平、李軼、渡部修士(桜美林大学講師)

参加者：21名

内容：『高等学校の中国語と韓国朝鮮語 学習のめやす(試行版)』(以下、めやす試行版)が提案する中国語の教授法、中国語運用能力の向上および中国語・中国文化に関する知識修得

●大阪外国語大学公開講座「高等学校中国語担当教員講座」

期間：2007/8/15～17 場所：大阪 主催：大阪外国語大学地域連携室、TJF 後援：文部科学省、在日本中国大使館教育処、中国駐大阪総領事館教育室

講師：植村麻紀子、郭静修(大阪外国語大学講師)、千場由美子(大阪府立柴島高等学校教諭)、藤井達也、禹平、李軼

参加者：25名

内容：めやす試行版が提案する中国語の教授法、中国語運用能力の向上と中国語・中国文化の関連知識修得

●高校中国語教員研修

期日：2007/12/22 場所：北九州 主催：北九州市立大学、TJF 協力：高等学校中国語教育研究会、中国語教育学会

講師：藤井達也

参加者：19名

内容：めやす試行版の考え方と授業での活用方法

●近畿地区高校中国語教員研修

期間：2008/8/4～6 場所：大阪 助成：(財)かめのり財団 協力：関西大学外国語教育研究機構、高等学校中国語教育研究会 後援：中国語教育学会、中国駐大阪総領事館教育室

講師：日下恒夫(関西大学教授)、胡玉華(立命館大学常勤講師)、張黎(大阪産業大学教授)、山崎直樹(関西大学教授)

参加者：31名

内容：コミュニケーション能力育成のための教授法、めやす試行版が提案するコミュニケーション能力指標にもとづく授業案作成

●高校中国語教員研修

期間：2008/8/6～8 場所：札幌 主催：札幌大学孔子学院、TJF 助成：(財)かめのり財団 協力：高等学校中国語教育研究会、北海道高等学校中国語教育研究会 後援：中国語教育学会、中国駐札幌総領事館

講師：植村麻紀子(神田外語大学専任講師)、張秀強(札幌大学孔子学院講師)、金昌吉(北海道大学講師)

参加者：11名

内容：コミュニケーション能力育成のための教授法、めやす試行版が提案するコミュニケーション能力指標にもとづく授業案作成

●高校中国語教員研修

期間：2008/8/13～15 場所：神奈川 主催：桜美林大学孔子学院、TJF 助成：(財)かめのり財団 協力：高等学校中国語教育研究会、中国語教育学会 後援：在日本中国大使館教育処

講師：安海生(日中学院専任講師)、植村麻紀子、胡玉華、楊光俊(桜美林大学教授)、李貞愛(桜美林大学専任講師)

参加者：25名

内容：コミュニケーション能力育成のための教授法、めやす試行版が提案するコミュニケーション能力指標にもとづく授業案作成
☆日程の一部を中国語教員免許状更新予備講習として、(財)日本私学教育研究所、桜美林大学と共催で実施

〈韓国語〉

●2007年度韓国語教師研修

期間：2007/8/6～11 場所：東京 主催：韓国国際交流財団、駐日韓国大使館韓国文化院、TJF

講師：伊藤英人（東京外国語大学大学院准教授）、内山政春（法政大学講師）、生越直樹（東京大学大学院教授）、金珍娥（明治学院大学専任講師）、金鍾徳（東京外国語大学特任客員准教授）、金善美（同志社大学講師）、趙義成（東京外国語大学専任講師）、野間秀樹（東京外国語大学大学院教授）*、長谷川由起子（九州産業大学専任講師）、波田野節子（県立新潟女子短期大学教授）、油谷幸利（同志社大学教授）* *主任講師

参加者：80名

内容：韓国語音韻論、韓国語教授法、誤用分析、実習

●韓国語教師研修2008

期間：2008/8/11～16 場所：大阪 主催：韓国国際交流財団、駐日韓国大使館韓国文化院、TJF

講師：伊藤英人、内山政春（法政大学准教授）、生越直樹、金恩愛（明治学院大学専任講師）、金珍娥、金鍾徳（東京外国語大学客員准教授）、金善美（同志社大学専任講師）、齊藤信浩（名古屋学院大学留学生別科特別講師）、塩田今日子（二松学舎大学教授）、須賀井義教（近畿大学専任講師）、趙義成、中島仁（東海大学専任講師）、南潤珍（東京外国語大学大学院准教授）、野間秀樹、長谷川由起子（九州産業大学准教授）、韓成求（明治学院大学講師）、前田真彦（大阪・私立建国中・高等学校教諭）、三ツ井崇（同志社大学専任講師）、村田寛（福岡大学准教授）、山下誠（神奈川県立鶴見総合高等学校教諭）、油谷幸利* *主任講師

参加者：100名

内容：韓国語音韻論、文法と発音の教授法、授業運営法、教材、コースデザインと授業計画、誤用分析、韓国語教育史

●韓国語教師研修2009

期間：2009/8/6～11 場所：福岡 主催：韓国国際交流財団、駐日韓国大使館韓国文化院、TJF

講師：伊藤英人、金珍娥、金鍾徳、金善美（宮崎大学准教授）、曹美庚（九州大学大学院准教授）、趙義成（東京外国語大学大学院准教授）、野間秀樹、長谷川由起子*、前田真彦、村田寛、油谷幸利 *主任講師

参加者：48名

内容：韓国語音韻論、文法と発音の教授法、授業運営法、高校生のための韓国語教材、コースデザインと授業計画、誤用分析、韓国語教育史、対照言語学、実習

▶外国語教育に新しい役割を

外国語学習のめやすプロジェクト

2007年3月に高校から始める外国語学習の指針として発行された『高等学校の中国語と韓国朝鮮語 学習のめやす（試行版）』を中国語、韓国語以外の外国語教育にも広げるために、①試行版を使った授業案づくりでフィードバックを得る②「外国語学習のめやす2012」の制作③「外国語学習のめやす2012」を各言語に広げるためのシンポジウム、ワークショップ④8言語（英、韓、西、中、独、日、仏、露）の教師を対象としためやすマスター研修⑤マスターと共催する研修やワークショップを実施

〈試行版の検証〉

●試行版を使った授業案づくりと検討

期間：2007/4～2009/2

メンバー：[中国語]植村麻紀子（埼玉県立和光国際高等学校講師）、胡興智（日中学院専任講師）、千場由美子（大阪府立柴島高等学校教諭）、藤井達也（埼玉県立伊奈学園総合高等学校教諭）、古川裕（大阪外国語大学教授）、

森茂岳雄（中央大学教授）、山田眞一（富山大学教授） [韓国語]任喜久子（大阪府立阪南高等学校教諭）、康龍子（大阪・私立建国高等学校教諭）、孫永善（神奈川県立川崎高等学校講師）、秋賢淑（二松学舎大学講師）、長渡陽一（埼玉・私立立教新座高等学校講師）、野間秀樹（東京外国語大学大学院教授）、長谷川由起子（九州産業大学専任講師）、増島香代（神奈川県立横浜清陵総合高等学校教諭）、山下誠（神奈川県立鶴見総合高等学校教諭）、油谷幸利（同志社大学教授）

●大阪府教育委員会と合同での試行版検証

期間：2008/4～2010/3

メンバー：[中国語]阿部慎太郎（大阪府立佐野工科高等学校講師）、岸昌代（大阪府立桃谷高等学校教諭）、須田美知子（東大阪市立立新高等学校常勤講師）、千場由美子、豊旭（大阪府立柴島高等学校ALT） [韓国朝鮮語]李貞榮（大阪府立佐野工科高等学校教諭）、林章子（大阪府立桃谷高等学校教諭）、任喜久子、川上知美（大阪府立桃谷高等学校教諭）、金ミンジェ（大阪府立阪南高等学校ALT）

〈「外国語学習のめやす2012」の制作〉

●「外国語学習のめやす2012」プロジェクトメンバーによる検討

期間：2009/3～2012/3

メンバー：[全体監修・執筆協力] 當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）、中野佳代子（国際文化フォーラム理事） [中国語部会] 植村麻紀子（神戸外語大学専任講師）、胡玉華（関西学院大学講師）、胡興智、千場由美子、藤井達也*、森茂岳雄、山崎直樹（関西大学教授） [韓国語部会] 任喜久子（大阪府立花園高等学校教諭）、釜田聡（上越教育大学教授）、金順玉（フェリス学院大学講師）、金孝卿（国際交流基金日本語国際センター専任講師）、中川正臣（韓国語教育専門家）、阪堂千津子（東京外国語大学講師）、山下誠* [アドバイザー] 稲垣忠（東北学院大学准教授）、佐藤郡衛（東京学芸大学副学長）、吉田研作（上智大学教授） *部会リーダー

拡大メンバー：[中国語] 岸昌代、須田美智子、鷹野由紀子（関西学院千里国際中学部・高等部非常勤講師）、山崎順平（宮城県古川高等学校教諭）、若森幸子（埼玉県立戸田翔陽高等学校非常勤講師） [韓国語] 李貞榮、川上知美、澤邊裕子（宮城学院女子大学准教授）、中野徹生（富山県立伏木高等学校教諭）、増島香代
内容：試行版検証のフィードバックを反映させ、中国語、韓国語だけでなく、すべての外国語を対象にした「外国語学習のめやす2012」（以下、「学習のめやす」）を作成、拡大メンバーによる単元案作り

●2009年高等学校中国語・韓国語教師研修

期間：2009/8/1～5 場所：神奈川 主催：TJF 共催：桜美林大学 特別共催：在日本中国大使館教育処、駐日韓国大使館韓国文化院 助成：（財）かめのり財団 協力：高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、高等学校中国語教育研究会 後援：駐日韓国文化院世宗学堂、文部科学省

講師：當作靖彦*、吉田研作 [中国語担当] 植村麻紀子、胡玉華（神戸市外国語大学講師）、山崎直樹** [韓国語担当] 金孝卿**、長谷川由起子（九州産業大学准教授）、阪堂千津子 *主任講師、**副主任講師

参加者：106名

内容：前半2日は、外国語担当教員セミナーとして実施。2009年度は「学習のめやす」の提案のなかから、外国語教育の目標、コミュニケーション能力育成のためのカリキュラム作成をテーマに取り上げ講義。後半3日は中国語と韓国語に分かれ、前半2日で学んだ内容に沿った授業案をグループで作成、発表、検討

●2010年高等学校韓国語・中国語教師研修

期間：2010/8/5～9 場所：東京 主催：TJF 共催：桜美林大学 特別共催：在日本中国大使館教育処、駐日韓国大使館韓国文化院、駐日韓国文化院世宗学堂 助成：（財）かめのり財団 協力：高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、高等学校中国語教育研究会 後援：文部科学省

講師：當作靖彦* [中国語担当] 植村麻紀子、胡玉華（関西学院大学常勤講師）、山崎直樹** [韓国語担当] 金孝卿**、中川正臣（弘益大学専任講師）、阪堂千津子 *主任講師、**副主任講師

コーディネーター：〔中国語担当〕岸昌代、須田美知子、鷹野由紀子(大阪・私立関西学院千里国際中等部・高等部教諭)、藤井達也、山崎順平(宮城県貞山高等学校教諭)、若森幸子(埼玉県立戸田翔陽高等学校講師)〔韓国語担当〕李貞榮、任喜久子(大阪府立阪南高等学校教諭)、川上知美、中野徹生、増島香代、山下誠

参加者：87名

内容：前半2日は、外国語担当教員セミナーとして実施。2010年度は「学習のめやす」の提案のなかからコミュニケーション能力が身につく学習のプロセスと評価をテーマに講義。後半3日は中国語と韓国語に分かれ、前半2日で学んだ内容に沿った授業案をグループで作成し、発表、検討。各グループにつくことになったコーディネーターを対象に5月にワークショップを実施

●2011年高等学校中国語・韓国語教師研修

期間：2011/7/30～8/3 **場所**：神奈川 **主催**：TJF **共催**：桜美林大学 **特別共催**：在日本中国大使館教育処、駐日韓国大使館韓国文化院、駐日韓国文化院世宗学堂 **協力**：高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、高等学校中国語教育研究会 **後援**：文部科学省

講師：當作靖彦*〔中国語担当〕植村麻紀子、胡玉華、千場由美子、藤井達也、山崎直樹**〔韓国語担当〕任喜久子(大阪府立花園高等学校教諭)、金孝卿**、中川正臣(培材大学専任講師)、阪堂千津子、山下誠

*主任講師、**副主任講師

参加者：113名

内容：前半2日は、外国語担当教員セミナーとし、初参加者と既参加者対象のクラスを設定。初参加者はコミュニケーション能力育成のためのカリキュラム作成をテーマとした講義、既参加者クラスでは実践の振り返り。後半3日は中国語と韓国語に分かれ、普段使っている教科書の分析と、教科書を使って「学習のめやす」のキーコンセプトを取り入れる授業案をグループで作成し、発表、検討

●ミニシンポジウム「21世紀の日本の外国語教育を考える」

期間：2011/7/31 **場所**：神奈川

登壇者：小笠原藤子(神奈川・私立慶應義塾湘南藤沢高等部講師、ドイツ語教育)、小田晴巳(神奈川県立横浜国際高等学校教諭、スペイン語教育)、櫻木千尋(神奈川・私立カリタス女子中学高等学校教諭、フランス語教育)、當作靖彦(米国の日本語教育)、藤井達也(中国語教育)、松本茂(立教大学教授、日本の英語教育)、山下誠(韓国語教育)

参加者：118名

内容：5言語(韓・西・中・独・仏)の教育に携わる教師それぞれがめざす外国語教育を語り、実践を報告。米国の日本語教育と日本の英語教育の立場からは日本の外国語教育政策についての提案

●『学習のめやす2011—高校からの中国語・韓国語—(ダイジェスト版)』

発行：2011/9、A4判変型、16ページ、4,000部

●『外国語学習のめやす2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』

発行：2012/3、A4判、112ページ、5,000部 **助成**：(公財)かめのり財団、(社)東京倶楽部 **配布先**：中国語と韓国語教育の実施校の校長と担当者、都道府県と政令指定都市の教育長および教育委員会の外国語担当指導主事、大学の外国語教育関係者など

●2012年高等学校韓国語・中国語教師研修

期間：2012/8/3～7 **場所**：大阪 **主催**：TJF **共催**：関西大学大学院外国語教育学研究科 **特別共催**：在日本中国大使館教育処、駐日韓国大使館韓国文化院、駐日韓国文化院世宗学堂 **協力**：高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、高等学校中国語教育研究会 **後援**：文部科学省

講師：當作靖彦*〔中国語担当〕植村麻紀子、胡玉華、山崎直樹**〔韓国語担当〕任喜久子、中川正臣(目白大学講師)、南潤珍(東京外国語大学准教授)** *主任講師、**副主任講師

参加者：97名

内容：前半3日は外国語担当教員セミナーとして実施し、「学習動機と学習効果を高める評価」をテーマに講義。

後半2日は中国語と韓国語に分かれ、評価の活動と評価のためのルーブリックを作成し、発表、検討

〈「外国語学習のめやす」の活用促進〉

●シンポジウム「未来(あす)を生きぬくための外国語教育に挑む」

期間：2012/3/3 **場所**：東京 **主催**：上智大学国際言語情報研究所、TJF **助成**：(公財)かめのり財団 **後援**：インスティトゥ・セルバンテス、外務省、経済産業省、ゲーテ・インスティトゥート、(独)国際交流基金、在日フランス大使館文化部、在日本中国大使館教育処、(独)JICA、駐日韓国大使館韓国文化院、(財)日本私学教育研究所、ブリティッシュ・カウンシル、文部科学省 **協力**：異文化間教育学会、外国語教育学会、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、高等学校中国語教育研究会、高等学校ドイツ語教育研究会、国際教育活動ネットワークREX-NET、新英語教育研究会、全国英語教育研究団体連合会、全国語学教育学会、大学英語教育学会、中国語教育学会、朝鮮語教育研究会、日本イスパニヤ学会、日本外国語教育改善協議会、日本言語政策学会、日本語教育学会、日本国際理解教育学会、日本私学教育研究所複言語教育研究会、日本中国語学会、日本独文学会、日本フランス語教育学会、日本ロシア語教育研究会、日本ロシア文学会、フランス語教育振興協会

モデレーター：當作靖彦 **パネリスト**：可越(日中コミュニケーション(株)取締役)、齊藤孝(千葉県立市川昂高等学校校長)、橘・フクシマ・咲江(G&S Global Advisors代表取締役社長、経済同友会副代表幹事)、吉田研作

参加者：169名

内容：「学習のめやす」の完成を記念し上智大学で開催。午前は、4人のパネリストが日本の外国語教育に対する問題提起と提言を行うパネルディスカッション。モデレーターが①外国語教育に選択肢をもうける②外国語教師が力をあわせて外国語の地位を高める③効果的な外国語教育の実施を提案。午後は日本の外国語教育の課題解決の具体的方策について、「ネットワーク」「アドボカシー」「制度」「教育環境」のテーマで7つのグループに分かれて討論

●「学習のめやす」実践ワークショップ

期日：2013/3/24 **場所**：東京 **主催**：高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、TJF

参加者：10名

講師：植村麻紀子 **コーディネーター**：山下誠

内容：「テキストブックアダプテーション」をテーマに、「学習のめやす」の考え方を取り入れた教科書の使い方を研修

●実践サポートめやすweb

運営：2012/6～2015/3

内容：「学習のめやす」を取り入れた授業実践と授業づくりに役立つレクシンプラン(学習内容例)を掲載

●『外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』

発行：2013/1、A4判、114ページ、3,000部 **定価**：本体953円(税別) **発行・発売**：TJF

●ロシア語教育用「学習のめやす」作成

期間：2015/2～2016/3

メンバー：〔監修〕林田理恵(大阪大学大学院教授)〔監修・リーダー〕横井幸子(大阪大学准教授)〔サブリーダー〕ボンダレンコ・オクサーナ(富山大学講師) 小田桐奈美(関西大学助教)、角谷昭美(富山県立志貴野高等学校教諭)、福田知代(東京・私立関西国際高等学校講師)、依田幸子(北海道札幌西陵高等学校教諭) **協力者**：加藤百合(筑波大学准教授)、三好マリア

内容：高等学校のロシア語教育現場で「学習のめやす」を日本語ネイティブとロシア語ネイティブに活用してもらうことをめざし、林田理恵科研プロジェクト、横井幸子科研プロジェクトと共同で日露併記の『外国語学習のめやす—ロシア語教育用—』を作成

●めやすweb

運営：2015/4～

内容：「学習のめやす」を使う教師のために、実践例やヒント、研修の情報を掲載

●『外国語学習のめやすーロシア語教育用ー』

発行：2016/3、A4判、214ページ、200部 配布先：高校と大学のロシア語教育関係者

〈「学習のめやす」マスター研修〉

●めやすマスター研修

8言語（英・韓・西・中・独・日・仏・露）の高校、大学の教師を対象に、「めやす」の理念や目標、方法を理解してもらい、どう活用できるのかを体験する研修。「外国語学習のめやすマスター」は、本研修修了者

期間／場所：第1回夏2013/8/4～8／大阪、兵庫 冬2013/12/7～8／滋賀 第2回夏2014/8/2～6／兵庫 冬2014/12/6～7／兵庫 第3回夏2015/8/4～8／千葉 春2016/3/24～25／神奈川 助成

（第1回）：漢語橋基金

講師：稲垣忠（第1回冬のみ、東北学院大学准教授）、山崎直樹

参加者：第1回18名 第2回18名 第3回19名

内容：年2回の合宿型研修。夏は「学習のめやす」のキーコンセプトの理解と「学習のめやす」を取り入れた授業づくり、2回目は作成した授業案の実践結果を発表、検討

●めやすマスター研修修了者会合

期日：2016/3/26 場所：神奈川

講師：山崎直樹

参加者：27名

内容：過去3年間のマスターが集合、「学習のめやす」の更なる活用と、今後の活動について討議

〈めやすマスターと共催のウォーミングアップ研修〉

「学習のめやす」初心者向けの研修。1つの言語を対象にしたもののほか、ドイツ語とロシア語、ドイツ語とフランス語、スペイン語とドイツ語と日本語など複数の言語を対象として実施

●ウォーミングアップ研修（ドイツ語・ロシア語）

期日：2014/4/14 場所：大阪 主催：TJF 共催：ドイツ語マスター、ロシア語マスター

講師：田原憲和（立命館大学准教授）、横井幸子（大阪大学助教）

参加者：12名

●ウォーミングアップ研修（ドイツ語・フランス語）

期日：2014/11/3 場所：東京 主催：TJF 共催：ドイツ語マスター、フランス語マスター

講師：池谷尚美（横浜市立大学講師）、野澤督（慶應義塾大学講師）

参加者：10名

●ウォーミングアップ研修（韓国語）

期日：2015/8/1 場所：東京 主催：TJF 共催：韓国語マスター

講師：中川正臣、南潤珍

参加者：20名

●ウォーミングアップ研修（ドイツ語、フランス語）

期日：2015/12/20 場所：名古屋 主催：ドイツ語マスター 共催：フランス語マスター、TJF

講師：池谷尚美、齊藤公輔（中京大学准教授）、茂木良治（南山大学准教授）

参加者：15名

●外国語学習のめやす韓国語教師研修

期日：2016/9/3 場所：東京 主催：TJF 共催：韓国語マスター

講師：中川正臣、南潤珍

参加者：12名

●外国語学習のめやすセミナー

期日：2017/2/11 場所：大阪 主催：TJF 共催：スペイン語マスター、ドイツ語マスター、日本語マスター

講師：阪上彩子（関西学院大学講師）、田原憲和、村上陽子（関西学院大学准教授）

参加者：30名

▶先生もチャレンジャー

小中高校の教師研修

小中高校の教師を主な対象に、情報化、グローバル化が進む社会の変化が教育にどのような影響を与えているかを解き明かし、主体性や課題解決力、協働力をはじめとする21世紀型の資質・能力を育成するための評価や読解などの具体的な実践方法についての講義ならびにワークショップ。プロジェクト学習の理論に基づいて授業案を作成するワークショップも実施

●講義「言語教育における21世紀スキルの実践」

期日：2013/3/29 場所：東京

講師：細井洋実（聖心インターナショナルスクール教諭）

参加者：小学校・高校・大学の教員など17名

●グローバル時代の人材育成セミナー「外国語教育で高度の思考力を養う」

期日：2013/7/7 場所：札幌 後援：北海道教育委員会、(株)北海道新聞社

講師：當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）

参加者：講演39名、ワークショップ23名

●ソーシャル・ネットワーキング・アプローチ（SNA）やグローバル時代の人材育成をテーマにした外国語教育セミナー

期日：2013/8/4 場所：大阪 主催：関西大学大学院外国語教育学研究科、TJF 後援：文部科学省

講師：當作靖彦

参加者：62名

●ソーシャル・ネットワーキング・アプローチ（SNA）やグローバル時代の人材育成をテーマにした外国語教育セミナー

期日：2013/8/10 場所：東京 主催：上智大学国際言語情報研究所、TJF

講師：當作靖彦、吉田研作（上智大学教授）

参加者：89名

●中学校・高等学校教員向けワークショップ「高度の思考力を養う読解活動」

期日：2013/10/10 場所：沖縄 主催：沖縄県教育委員会 共催：TJF

講師：當作靖彦
参加者：国語・外国語担当教員65名

●外国語教育セミナーin福岡「グローバル時代の人材育成と外国語教育」
期日：2013/10/14 場所：福岡 主催：中国語教育学会、福岡韓国朝鮮語教育研究会、TJF 後援：九州産業大学国際文化学部、福岡県教育委員会
講師：當作靖彦
参加者：60名

●言語教育におけるプロジェクト学習の授業見学と講義
期日：2014/1～2014/7 場所：東京
講師：細井洋実
参加者：小中高校大学の教員など15名

●中学校・高等学校教員向け講義「グローバル時代のキャリア形成、ライフデザインにつながる教育」、ワークショップ「学習を促進する評価のデザイン」
期日：2014/10/9 場所：沖縄 主催：沖縄県教育委員会 共催：TJF
講師：當作靖彦
参加者：66名

●外国語教員向けワークショップ「学習を促進する評価のデザイン」
期日：2014/10/11 場所：札幌 主催：国際教育活動ネットワークREX-NET、実用英語教育学会(SPELT)、TJF 協力：高等学校中国語教育研究会北海道支部
講師：當作靖彦
参加者：97名

●外国語教員向けワークショップ「学習を促進する評価のデザイン」
期日：2014/10/26 場所：大阪 主催：国際教育活動ネットワークREX-NET、TJF
講師：當作靖彦
参加者：70名

●講義「グローバル時代のキャリア形成、ライフデザインにつながる教育」、ワークショップ「学習を促進する評価のデザイン」
期日：2015/5/29 場所：東京
講師：當作靖彦
参加者：小中高校大学の教員90名

●講義「グローバル時代の社会とつながる教育」、ワークショップ「学習を促進する評価のデザイン：パフォーマンス評価とポートフォリオ評価を中心に」
期日：2015/10/18 場所：大阪 主催：国際教育活動ネットワークREX-NET、TJF
講師：當作靖彦
参加者：小中高校大学の教員100名

●中学校・高等学校教員向け講義「評価のパラダイムシフト：学習結果を見るテストから学習を促進するテストへ」、ワークショップ「言語教育におけるパフォーマンス評価：その効果的なデザインと実施方法」
期日：2015/11/5 場所：沖縄 主催：沖縄県教育委員会 共催：TJF
講師：當作靖彦
参加者：外国語・国語担当教員150名

●講義「グローバル時代の社会とつながる教育」、ワークショップ「学習を促進する評価のデザイン：パフォーマンス評価とポートフォリオ評価を中心に」
期日：2015/11/7 場所：札幌 主催：北海道大学国際本部留学生センター、TJF 協力：高等学校中国語教育研究会北海道支部、国際教育活動ネットワークREX-NET、実用英語教育学会(SPELT)、北海道高等学校英語教育研究会
講師：當作靖彦
参加者：小中高校大学の教員70名

●講義・ワークショップ「情報活用型プロジェクト学習」
期日：2016/3/27 場所：東京
講師：稲垣忠(東北学院大学准教授)
参加者：小中高校大学の教員40名

●中学校・高等学校教員向け講義「評価のパラダイムシフト：学習結果を見るテストから学習を助けるテストへ」、ワークショップ「学習を促進する評価のデザイン：パフォーマンス・オーセンティック評価とルーブリックを中心に」
期日：2016/6/6 場所：沖縄 主催：沖縄県教育委員会 共催：TJF
講師：當作靖彦
参加者：沖縄県内の公立高校および中学校の外国語教員90名

●講義「評価のパラダイムシフト：講義中心の教育からアクティブラーニング中心の教育への変化は評価をどのように変えたか」、ワークショップ「パフォーマンス評価、オーセンティック評価：アクティブラーニングの効果的な評価のデザインと実施方法」
期日：2016/7/31 場所：大阪 主催：国際教育活動ネットワークREX-NET、TJF
講師：當作靖彦
参加者：小中高校大学の教員100名

●ワークショップ「プロジェクト学習、探究学習のリフレクション&ブラッシュアップ」
期日：2016/8/25 場所：東京
講師：稲垣忠
参加者：小中高校の教員5名

●講義「評価のパラダイムシフト：講義中心の教育からアクティブラーニング中心の教育への変化は評価をどのように変えたか」、ワークショップ「パフォーマンス評価、オーセンティック評価：アクティブラーニングの効果的な評価のデザインと実施方法」
期日：2016/11/26 場所：札幌 協力：高等学校中国語教育研究会北海道支部、国際教育活動ネットワークREX-NET、実用英語教育学会(SPELT)、北海道高等学校英語教育研究会 後援：札幌市教育委員会、北海道教育委員会
講師：當作靖彦
参加者：小中高校大学の教員90名

●ワークショップ「探究する学びをデザインしよう～プロジェクト学習で言葉と情報をフル活用する単元づくり」
期日：2017/3/26 場所：東京
講師：稲垣忠
参加者：小中高校の教員30名

▶はじめの一步

隣語講座

中高生が学校の内外でさまざまな外国語を学べるよう、他機関の協力を得て講座を開設。多様な外国語を学ぶことへの理解を広げるため、保護者、教師も参加できる講座も実施

〈生徒向け韓国語講座〉

●中高生のための韓国語講座

期間：2010/10/16～2011/3/5(全16回)、2011/5/14～2012/3/3(全24回)、2012/5/12～2013/3/9(全24回)、2013/4/13～2014/3/15(全24回)、2014/4/12～2015/3/14(全24回)、2015/4/11～2016/3/19(全24回)、2016/4/9～2017/3/4(全24回) 場所：東京 主催：駐日韓国文化院世宗学堂 共催：駐日韓国大使館韓国文化院、TJF

講師：金民(2010年度、東京外国語大学大学院生)、鄭賢熙(2012～2016年度、神奈川県立横浜緑園総合高等学校講師)、梁民喆(2011年度、早稲田大学大学院生)

参加者：25名(2010、2014、2015、2016年度)、23名(2011、2013年度)、27名(2012年度)

●高校生のための韓国語講座「K-POPを歌えるようになろう」

期間：2014/8/23～25 場所：東京

アシスタント：申明勲(東京韓国学校生徒)、張河林(東京大学大学院生)

参加者：4名

●b-lab×TJF隣語講座2015(韓国語)

期日：2015/9/20 場所：東京 主催：文京区青少年プラザb-lab、TJF

講師：張河林

参加者：中高生8名

内容：ハングルの仕組みを知る、ハングルで名刺づくり、韓国語を学んだことがある大学生の先輩の体験談

●隣語(韓国語)講座

期間：2016/10/19～2017/2/8(全9回) 場所：横浜 主催：横浜市立みなと総合高等学校多言語多文化共生理解部、TJF

講師：李迎日(東京外国語大学大学院生)、金恵珍(東京外国語大学大学院生) アドバイザー：南潤珍(東京外国語大学准教授)

参加者：生徒8名、教師1名

〈生徒向け中国語講座〉

●高校生のための土曜中国語講座

期間：①2010/5/8～6/26②10/9～12/11(全17回) 場所：神奈川 主催：桜美林大学孔子学院、TJF

講師：①龔振(桜美林大学孔子学院講師)②王静(桜美林大学孔子学院講師)

●高校生のための土曜中国語講座

期間：2011/10～12(全10回)、2012/5～7(全8回) 場所：東京 主催：ISI国際学院 共催：TJF

講師：展偉静(神奈川・私立横浜学園高等学校講師)

参加者：15名(2011年)、9名(2012年)

●高校生のための土曜中国語講座

期間：2013/9～12(全10回)、2014/9～12(全10回) 場所：千葉 主催：千葉県高等学校教育研究会中国語部会、TJF 助成：漢語橋基金 協力：千葉県立幕張総合高等学校

講師：陳玉莉(2013年、千葉県立稲毛高等学校講師)、于平(2014年、千葉県立市川昂高等学校講師)

参加者：千葉県内の高校に在籍する生徒12名(2013年)、7名(2014年)

●b-lab×TJF隣語講座2015(中国語)

期日：2016/2/21 場所：東京 主催：文京区青少年プラザb-lab、TJF

講師：張玥(東京大学大学院生)

参加者：中高生9名

内容：ボードゲーム「Dixit」で遊びながら中国語を学習、中国語を学んだことがある大学生の先輩の体験談

〈保護者・教師・生徒向け〉

●世界の言語と文化を知ろう！(第1回)「世界の韓流と日本の韓流—韓国を知ろう！」

日時：2015/6/20 場所：東京 主催：東京都高等学校総合学科教育研究会 共催：TJF 協力：東京韓国教育院、東京都立杉並総合高等学校PTA

講師：阪堂千津子(東京外国語大学講師)

参加者：高校生、保護者、教師、計58名

内容：社会現象となった韓流の魅力のクイズと講演。隣語を学ぶ意義を教師、保護者、高校生の混成グループでディスカッション

●世界の言語と文化を知ろう！(第2回)「日本が好きな中国を知ろう！」

期日：2016/6/11 場所：東京 主催：東京都高等学校総合学科教育研究会、TJF 助成：漢語橋基金 協力：東京都立杉並総合高等学校PTA

講師：毛丹青(神戸国際大学教授、作家)

参加者：高校教育関係者、保護者、中学生、高校生、計33名

内容：「中国の若者の対外意識を問いつける日本専門誌の底力」の講演、日本の人がもっと中国を知りたいと思うようになるための具体策を教師、保護者、高校生の混成グループでディスカッション

●世界の言語と文化を知ろう！(第3回)「りんごをかじってみる」

期日：2016/12/3 場所：東京 主催：東京都高等学校総合学科教育研究会、TJF 助成：漢語橋基金、東京韓国教育院 協力：東京都立杉並総合高等学校PTA

講師：張河林、張玥

参加者：高校教育関係者、保護者、中学生、高校生、計36名

内容：韓国語と中国語のミニ体験講座、中国語と韓国語を学んだことがある大学生の先輩の体験談

▶「話してみたい」ができる

韓国語学習者のサポート

初級レベルの韓国語を学ぶ高校生も参加できる全国規模のコンテストを共催。第3回まで、主催団体として事務局を担当

●クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会

期間：第1回2008/3～6/14、第2回2008/11～2009/3/21、第3回2009/10～2010/3/13 主催：(財)クムホ・アジアナ文化財団、駐日韓国大使館韓国文化院、日中韓文化交流フォーラム、TJF 協賛：ANA、

ASIANA AIRLINES、KUMHOタイヤ、慶熙大学校国際教育院 **後援(第1回)**：外務省、韓国観光公社、(独)国際交流基金、(財)日韓文化交流基金

審査員：イ・ユニ(東京成徳大学人文学部教授)、梅田博之(麗沢大学名誉教授)*、姜信子(作家、恵泉女学園大学客員教授)、関川夏央(作家、神戸女学院大学客員教授) *審査委員長

参加者：第1回494名(韓国語スキット部門115組230名、韓国語スピーチ部門65名、日本語エッセイ部門199名)、第2回481名(韓国語スキット部門129組258名、韓国語スピーチ部門21名、日本語エッセイ部門202名)、第3回483名(韓国語スキット部門148組296名、韓国語スピーチ部門22名、日本語エッセイ部門165名)

内容：韓国語スキット部門、韓国語スピーチ部門、日本語エッセイ部門を設け、スキット部門は全国で開催されていた「話してみよう韓国語」地方大会スキット部門で最優秀の高校生が本選に臨む。最優秀賞・優秀賞受賞者の副賞である韓国研修ツアー(翌年7～8月)に事務局として同行(第1回、第2回)

▶違うようで同じ、同じようで違う

日中韓フォーラム

日中韓の文化や日本の韓国語教育をテーマにしたシンポジウムを共催で実施

〈日中韓〉

●フォーラム2007 「王敏さん、ちゃん・ひょんしるさんと語る隣国のことばと文化」

期日：2007/10/13 **場所**：東京 **主催**：TJF **共催**：在日本中国大使館教育処、駐日韓国大使館韓国文化院

登壇者：ちゃん・ひょんしる(NPO法人ふくかんなえっと理事長)、王敏(法政大学国際日本学研究所教授)

語り：キム・ギョン、矢部敦子、魯大鳴

参加者：200名

内容：日本、韓国、中国の3名の語り部がそれぞれのことばを交えて民話を語り、日本、韓国、中国の民話を比較

●フォーラム2008 『「食」を通してみる日中韓の暮らしと文化』

期日：2008/11/6 **場所**：東京 **主催**：TJF **共催**：在日本中国大使館教育処、駐日韓国大使館韓国文化院

登壇者：今泉容子(筑波大学教授)、ウー・ウェン(中国出身の料理研究家)、柳香姫(韓国料理研究家)

参加者：120名

内容：日中韓のテレビCMを通じた日中韓の食文化比較、中韓の料理研究家による対談

〈日韓〉

●公開フォーラム「日本の韓国語教育30年を振り返って」

期日：2009/11/8 **場所**：東京 **主催**：駐日韓国大使館韓国文化院、TJF

登壇者：イ・ユニ(東京成徳大学教授)、梅田博之(麗沢大学名誉教授)、呉英元(二松学舎大学名誉教授)、兼若逸之(東京女子大学教授)、金珍娥(明治学院大学専任講師)

参加者：120名

内容：NHK講座の講師経験者、韓国文化院韓国語講座初代講師が時代ごとの韓国語教育の特徴や韓国語学習と人的交流の広がりを報告

〈日中〉

●京劇ワークショップ「中国の伝統文化を体験する」

期日：2010/3/6 **場所**：東京 **主催**：在日本中国大使館教育処、TJF **助成**：漢語橋基金

講師：魯大鳴(京劇役者)

参加者：90名

内容：京劇の基礎知識の解説、衣装、化粧、伴奏楽器の体験

▶ノボシビルスクに行ってみた

日露交流

日露の教師合同研修やロシア語学習者の派遣、日本語学習者の招聘

●ロシアの日本語教師招聘

期間：2015/8/7～8/12 **場所**：千葉、東京 **主催**：日露青年交流センター、TJF **助成**：(一社)尚友倶楽部

協力：国際交流基金モスクワ日本文化センター

参加者：モスクワとノボシビルスクの高校日本語教師6名

内容：日本の外国語教師を対象とした研修の見学、実物教材の収集、日本の高校ロシア語教師との合同ワークショップ、都内見学

●日露教師合同ワークショップ

期間：2015/8/9～10 **場所**：東京 **主催**：科研「大学間、高等学校—大学間ロシア語教育ネットワークの確立」

(研究代表：林田理恵・基盤研究(B)・課題番号：23320114)、「高等学校のロシア語教員に関する縦断的研究：教師養成のための支援体制の確立」(研究代表：横井幸子・基盤研究(C)・課題番号：25370715)、TJF

講師：横井幸子(大阪大学講師)

グループ活動コーディネーター：小田桐奈美(関西大学助教)、角谷昭美(富山県立志貴野高等学校教諭)、福田知代(東京・私立関東国際高等学校講師)、ボンダレンコ・オクサーナ(富山県立伏木高等学校講師)、依田幸子(北海道札幌西陵高等学校教諭)

参加者：ロシアの日本語教師6名、日本のロシア語教師6名

内容：『外国語学習のめやす—ロシア語教育用』のコンセプトやそれに基づく授業づくりの手法について学び、日露教師の混成グループでそれぞれの学校やクラスの状況に合わせた単元案作成

●日本の高校ロシア語教師・高校生のロシア派遣

期間：2016/9/15～24(9/15は日本側事前研修) **場所**：ロシア・ノボシビルスク、モスクワ **助成**：(一社)尚友倶楽部

協力：高等経済学院、国際交流基金モスクワ日本文化センター、ノボシビルスク市シベリア・北海道文化センター **輸送協力**：JAPAN AIRLINES **企画協力**：JALPAK **旅行取扱**：(株)Jトラベルセンター

参加者：青森、秋田、東京、富山、北海道のロシア語教師7名、生徒12名

内容：ノボシビルスクで地元高校生と市内見学、ノボシビルスク工科大学附属ITリツェイ、ノボシビルスク第3番音楽学校、ノボシビルスク総合大学訪問、ホームステイ、モスクワで第1223番学校、第1471番学校訪問、赤の広場、ロシア正教会見学

●日露教師合同研修

期間：2016/9/21～22 **場所**：ロシア・モスクワ

講師：横井幸子 **コーディネーター**：大田美紀(国際交流基金モスクワ日本文化センター日本語教育専門家)、ストリジャック・ウリアナ(高等経済学院准教授)

参加者：12名

内容：『外国語学習のめやす—ロシア語教育用—』をもとに日露の教師が共同で作成した活動案を模擬授業として実施、意見交換

●サンクトペテルブルク日本語教師研修

期間：2016/9/24 場所：ロシア・サンクトペテルブルク 後援：在サンクトペテルブルク日本国総領事館 協力：国際交流基金モスクワ日本文化センター、サンクトペテルブルク日本センター

講師：横井幸子

参加者：20名

内容：『外国語学習のめやすーロシア語教育用ー』のコンセプト、学習目標の設定と評価方法に関する講義、グループで授業プランの作成、発表、検討

▶校長の出番です

日中・日韓の校長交流

互いのことばの教育や交流に関心のある日中、日韓の学校管理職、教育関係者を中国、韓国へ派遣。中国、韓国から生徒も含め日本へ招聘。韓国からの招聘はJENESYS(21世紀東アジア青少年大交流計画)事業として実施(以下、○は日中交流、●は日韓交流)

〈校長、教育関係者の派遣〉

○2008年度

期間：2008/12/22～25 場所：中国・大連 主催：国家漢弁 実施：TJF 助成：漢語橋基金 協力：(財)神奈川県私立中学高等学校協会、大連教育学院 後援：神奈川県、在日本中国大使館教育処 受入機関：大連市教育局

参加者：神奈川県私立中学・高等学校の管理職、神奈川県私学管轄部門責任者、計14名

内容：大連市教育局訪問、日本語教育を実施している大連市第1中学、弘文中学を訪問、日中教育交流会

○2009年度

期間：2009/12/22～26 場所：中国・北京 主催：国家漢弁 実施：TJF 助成：漢語橋基金 協力：(財)神奈川県私立中学高等学校協会、東京私立中学高等学校協会 輸送協力：ANA 後援：在日本中国大使館教育処 受入機関：北京技術経済開発区実験学校

参加者：神奈川県私立中学・高等学校の管理職等10名、東京都私立中学・高等学校の管理職4名、計14名

内容：私立匯佳学校、私立北京技術経済開発区実験学校、北京市第12中学を訪問、日中教育交流会、市内見学(故宫、天安門広場、胡同、天壇公園、オリンピック公園)

○2010年度

期間：2010/11/22～26 場所：中国・北京 主催：国家漢弁 実施：TJF 助成：漢語橋基金 協力：文部科学省 輸送協力：ANA 後援：在中国日本国大使館、在日本中国大使館教育処 受入機関：北京市国際教育交流中心

参加者：神奈川県、岐阜、埼玉、千葉、東京、北海道、宮城の高等学校の管理職8名、教師3名、沖縄県教育委員会関係者1名、茨城県国際交流協会関係者2名、計14名

内容：国家漢弁訪問、北京市教育委員会訪問、北京市求实職業学校、北京市第94中学訪問、市内見学(万里の長城、天安門広場、王府井)

○2011年度

期間：2011/11/22～26 場所：中国・ハルビン 主催：国家漢弁 実施：TJF 助成：漢語橋基金 協力：文部科学省 後援：在瀋陽日本国総領事館、在中国日本国大使館、在日本中国大使館教育処

参加者：沖縄、岐阜、京都、埼玉、千葉、東京、富山、兵庫、北海道、和歌山の高等学校の管理職14名、教師2名、私立学校協会事務局長1名、計17名

内容：黒龍江省教育庁訪問、簾紅中学、私立徳強双語小学校訪問、市内見学(ソフィア大聖堂、太陽島公園、東北虎園)、買い物体験

○2013年度

期間：2013/8/20～24 場所：中国・長春 助成：東華教育文化交流財団 輸送協力：ANA

参加者：神奈川県、千葉、福岡の中国語実施校の管理職、教師、計3名

内容：中等日本語課程設置校工作研究会の会議に出席、参加した中国側校長と交流会、1泊2日の長白山ツアー、長春市内見学(偽故宫、中東市場)

●2015年度

期間：2015/8/11～14 場所：韓国・ソウル、大田 主催：神奈川県韓国総合教育院、東京韓国教育院、TJF 輸送協力：ANA

参加者：神奈川県、東京の高等学校の管理職および教師、計7名

内容：忠南大学(大田)で教育関係者と意見交換、日本語教育を実施している大田外国語学校訪問、日韓校長および教師交流会(8/13、国際交流基金ソウル日本文化センターと共催)

●2016年度

期間：2016/8/6～8/9 場所：韓国・ソウル 主催：神奈川県韓国総合教育院、東京韓国教育院、TJF 輸送協力：ANA

参加者：神奈川県、埼玉、千葉、東京、広島の高等学校の管理職、計11名

内容：日本語教育を実施している徳沼高等学校訪問、ソウル市内見学、ソウルの大学に留学している日本人学生との交流、日韓校長および教師交流会(8/8、国際交流基金ソウル日本文化センターと共催)

〈日本語教育実施校管理職・生徒の招聘〉

○2014年度

期間：2014/11/19～24 場所：東京、神奈川 主催：中等日本語課程設置校工作研究会、TJF 助成：(公財)東華教育文化交流財団、(公財)三菱UFJ国際財団 輸送協力：ANA

協力者：黄麗(上智大学大学院生)、竹内裕輔(ワークショップデザイナー)

参加者：中等日本語課程設置校工作研究会メンバー校の管理職18名、引率教師2名、生徒18名

内容：横浜市立みなと総合高等学校訪問、箱根観光、浅草見学 [校長]11/22 中国語教育を実施する日本の高等学校の管理職、大学の中国語教育関係者、日中交流団体関係者との交流会 [生徒]11/22～24 中国語を学ぶ日本の高校生18名と「りんごの合宿」

○2015年度

期間：2015/12/15～20 場所：東京、神奈川 主催：中等日本語課程設置校工作研究会、TJF 助成：漢語橋基金、(公財)東華教育文化交流財団、(公財)三菱UFJ国際財団 協力：横浜市立みなと総合高等学校 輸送協力：ANA

参加者：中等日本語課程設置校工作研究会のメンバー校の管理職19名、引率教師2名、生徒18名

内容：[校長]埼玉県立和光国際高等学校訪問、横浜市立みなと総合高等学校訪問、都内見学(江戸東京博物館)、温泉体験、日中教育交流会 [生徒]横浜市立みなと総合高等学校の生徒と4日間交流(授業、課外活動への参加、ホームビジット、横浜近郊観光)

●JENESYS2.0韓国との間の招聘事業「今の日本を知る——人々の暮らし・最先端技術・震災後の活力」

期間：2015/11/8～11/16 場所：東京、宮城 主催：(一社)国際フレンドシップ協会、TJF 協力：韓国日本語教育研究会 輸送協力：ANA

引率教師：李学洙(聖修女子高等学校)、金吉善(巨濟女子中学校)、田太重(江西高等学校)* *団長

参加者：日本語を学ぶ韓国の高校生32名

内容：都内見学、東京都立杉並総合高等学校訪問、駐日韓国文化院世宗学堂で韓国語を学ぶ高校生との交流、ホームステイ、宮城県南三陸町訪問、仙台市で宮城女子学院大学の学生と交流、「私が発見した日本」をテーマに撮影した写真をプレゼンテーションで紹介

●JENESYS2016韓国との間の招聘事業「ガイドブックにはない日本を発信する」

期間：[校長]2016/11/23～11/29 [生徒]11/23～12/1 **場所：**東京、神奈川、広島 **主催：**(一社)国際フレンドシップ協会、TJF **輸送協力：**ANA

参加者：日本語教育実施校の管理職10名、生徒22名

引率教師：金洪南(漢西高等学校)、朴浣錫(登村高等学校)

内容：都内見学、神奈川県立神奈川総合高等学校訪問、広島市内見学、広島県立安芸府中等学校訪問 [校長]神奈川県立弥栄高等学校訪問、東京・私立神田女学園中学校高等学校訪問、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク広島大会参加、造り酒屋見学 [生徒]スイーツデコづくり体験、原宿散策、「私が発見した日本」をテーマに撮影した写真をプレゼンテーションで紹介

▶咱们サマキャン見！ 日中の高校生交流

中国語を学ぶ日本の高校生の中国研修。互いのことばを学ぶ日中の高校生が合宿する交流

〈中国語を学ぶ日本の高校生の短期中国研修〉

●漢語橋日本高校生サマーキャンプ2007

期間：2007/8/21～30 **場所：**中国・北京、大連 **主催：**国家漢弁 **実施：**TJF **協力：**文部科学省 **後援：**在中国日本国大使館、中国教育部、在日本中国大使館教育処

引率教師：石田あきら(京都・私立立命館宇治高等学校)、潮田康之(神奈川県立外語短大付属高等学校)、須田美知子(東大阪市立日新高等学校)、西岡民子(さいたま市立浦和高等学校) **看護師：**松島洋子

中国語授業の講師：対外経済貿易大学の中国語教育専門家

参加者：91名

内容：中国語研修、万里の長城・天安門(北京)・203高地(大連)見学、雑技鑑賞、中国結び、太極拳体験、日本語教育実施校での交流

●漢語橋日本高校生サマーキャンプ2008

期間：2008/7/25～8/3 **場所：**中国・大連 **主催：**国家漢弁 **実施：**TJF **助成：**漢語橋基金 **協力：**文部科学省 **後援：**在中国日本国大使館、中国教育部、在日本中国大使館 **受入機関：**大連市教育局

引率教師：石井裕子(東京・私立昭和女子大学付属昭和高等学校)、岸昌代(大阪府立桃谷高等学校)、江田哲也(福岡・私立立花高等学校)、堀川秀咲(神奈川県立城郷高等学校) **看護師：**松島洋子

中国語授業の講師：大連交通大学の中国語教育専門家

参加者：92名

内容：中国語研修、旅順、大連モデル養成学校、三菱電機大連有限公司見学、雑技鑑賞、同時実施の日本語橋参加者と極地海洋博物館見学、京劇鑑賞、切り絵・餃子づくり体験

●日本語橋中国高校生サマーキャンプ2008

期間：2008/7/30～8/3 **場所：**中国・大連 **主催：**遼寧省基礎教育研究教師研修センター、TJF **助成：**(財)かめのり財団 **後援：**吉林省教育学院、黒龍江省教育学院、在中国日本国大使館、中国教育学会外語教学專業委員会日語部会

引率教師：尹勝傑(吉林省日本語指導主事)、曾麗雲(遼寧省日本語指導主事)、張石煥(黒龍江省日本語指導主事)

日本語授業の講師：今井なをみ(早稲田大学日本語教育研究センター教員)、宮村さおり(青年海外協力隊員・大連市第30中学)

参加者：吉林省、黒龍江省、遼寧省の高校生、計46名

内容：日本語研修、同時実施の漢語橋参加者と極地海洋博物館見学、京劇鑑賞、切り絵・餃子づくり体験

●漢語橋日本高校生サマーキャンプ2009

期間：2009/7/25～8/3 **場所：**中国・北京 **主催：**国家漢弁 **実施：**TJF **助成：**漢語橋基金 **協力：**文部科学省 **輸送協力：**ANA **後援：**在中国日本国大使館、在日本中国大使館教育処 **受入機関：**北京経済技術開発区実験学校

引率教師：浅野進太(東京・私立二松学舎大学附属高等学校)、角田圭子(岐阜県立岐阜総合学園高等学校)、小曲昭男(神奈川県立横浜平沼高等学校)、祭貴貴美子(和歌山県立橋本高等学校)、林恵子(北海道札幌清田高等学校)、牧信之(長崎県立佐世保東翔高等学校) **看護師：**松島洋子

中国語授業の講師：北京経済技術開発区実験学校の教師

参加者：92名

内容：中国語研修、切り絵・餃子づくり体験、家庭訪問、現地高校生とスポーツ交流、朝市、天安門、万里の長城見学、雑技鑑賞

●漢語橋日本高校生サマーキャンプ2010

期間：2010/7/24～8/2 **場所：**中国・北京 **主催：**国家漢弁 **実施：**TJF **助成：**漢語橋基金 **協力：**文部科学省 **輸送協力：**ANA **後援：**在中国日本大使館、在日本中国大使館教育処 **受入機関：**北京経済技術開発区実験学校

引率教師：石井裕子、石田あきら、城間真理子(沖縄県立向陽高等学校)、堀川秀咲 **看護師：**小島祐子

中国語授業の講師：北京経済技術開発区実験学校の教師

参加者：90名

内容：中国語研修、切り絵体験、雑技鑑賞、家庭訪問、現地高校生との交流、オリンピックスタジアム、天安門、故宮、万里の長城見学

〈日中の高校生サマーキャンプ〉

●日本の高校生サマーキャンプ(漢語橋2011)

期間：2011/7/25～8/3 **場所：**中国・長春 **主催：**国家漢弁 **実施：**TJF **助成：**漢語橋基金、(公財)双日国際交流財団 **協力：**文部科学省 **特別協力：**ANA **後援：**外務省、在日本中国大使館教育処 **受入機関：**長春日章学園高中

引率教師：城間真理子、須田美知子、長谷部聡子(東京都立光丘高等学校)、松山美彦(北海道登別明日中等教育学校)、山崎順平(宮城県古川高等学校) **看護師：**小島祐子 **撮影同行：**大木茂

中国語授業の講師：長春日章学園高中の教師 **中国語授業案作成協力：**植村麻紀子(神田外語大学専任講師)

参加者：90名

内容：プログラム最終日に設定した「来場者が楽しめる体験型のサマキャン☆文化祭」の企画、準備、実施。中国語研修、家庭訪問、市内見学、買い物体験

●中国の高校生サマーキャンプ(日本語橋2011)

期間：2011/7/27～8/2 **場所：**中国・長春 **主催：**吉林省教育学院、TJF **助成：**国際交流基金北京日本文化センター、(公財)双日国際交流財団

日本語授業の講師：武田育恵(大連弘文中学)、中新井綾子(日本語教育専門家) **協力者：**高須こずえ(青年海外協力隊員・梅河口市朝鮮族中学)、安田真人(青年海外協力隊員・内モンゴル師範大学)、山崎望未(青年海外協力隊員・大連市第30中学)、四辻可苗(青年海外協力隊員・安徽中澳職業学院)

参加者：長春市内の日本語学習者46名

内容：プログラム最終日に設定した「来場者が楽しめる体験型のサマキャン☆文化祭」の企画、準備、実施。

日本語研修、家庭訪問、日本人生徒の市内見学と買い物体験のガイド

●日本の高校生サマーキャンプ(漢語橋2012)

期間: 2012/7/23～8/2 **場所:** 千葉、中国・長春、北京 **主催:** 国家漢弁 **実施:** TJF **助成:** 漢語橋基金、(公財) 双日国際交流財団 **協力:** 文部科学省 **特別協力:** ANA **後援:** 外務省、在日本中国大使館教育処 **受入機関:** 長春日章学園高中

引率教師: 榎本三紀子(和歌山県立熊野高等学校)、岸昌代、城間真理子、藤井達也(埼玉県立伊奈学園総合高等学校)、牧信之(長崎県立鳴滝高等学校) **看護師:** 小島祐子

中国語授業の講師: 長春日章学園高中の教師

参加者: 86名

内容: プログラム最終日に設定した「来場者が楽しめる体験型のサマキャン☆文化祭」の企画、準備、実施。中国語研修、家庭訪問、市内見学、買い物体験、国家漢弁訪問

●中国の高校生サマーキャンプ(日本語橋2012)

期間: 2012/7/25～8/1 **場所:** 中国・長春 **主催:** 吉林省教育学院、TJF **助成:** 国際交流基金北京日本文化センター、(公財) 双日国際交流財団

日本語授業の講師: 高須こずえ(日本語教育専門家)、中新井綾子(日本語教育専門家)、和栗夏海(日本語教育専門家) **協力者:** 田中陽子(青年海外協力隊員・新賓市満族自治県朝鮮族中学)、前川絃子(青年海外協力隊員・瀋陽市朝鮮族第1中学)

参加者: 吉林省内の日本語学習者53名

内容: プログラム最終日に設定した「来場者が楽しめる体験型のサマキャン☆文化祭」の企画、準備、実施。日本語研修、家庭訪問、日本人生徒の市内見学と買い物体験のガイド

▶ソウルでダンス・ダンス・ダンス

日韓の中高生交流

互いのことばを学ぶ日韓の中高生が合宿しながらチームを組んでK-POPダンスを練習、発表

●SEOULでダンス・ダンス・ダンス2012

期間: [日本側事前研修]2013/1/13、2/10、3/10 [ソウル合宿]2013/3/28～4/1 [報告会]2013/4/28 **場所:** 東京、韓国・ソウル **主催:** (財) 秀林文化財団、TJF **協力:** 韓国日本語教育研究会、光新高等学校、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、秀林外語専門学校、ソウル大学言語教育院 **協賛:** アシアナ航空(株)

後援: 神奈川韓国総合教育院、埼玉韓国教育院、千葉韓国教育院、東京韓国教育院

韓国語授業の講師: キム・ジョンヒョン(ソウル大学言語教育院講師)

引率教師: [日本側] 李智子(横浜市立横浜総合高等学校) [韓国側] ヨ・ソング(光新高等学校)

参加者: 日本9名、韓国15名

内容: 書類選考と面接を経て決定した日本側の9名が、ソウル大学での韓国語の授業、光新高等学校で日韓混成2チームに分かれ、ダンス練習、ホームステイ、東大門でファッション対決に向けての買い物、発表会(ダンス対決とファッション対決)。帰国後改めて関係団体、保護者、参加者所属校の教師を招いての報告会を実施

●SEOULでダンス・ダンス・ダンス2013

期間: 2013/12/25～30(12/25は日本側事前研修) **場所:** 東京、韓国・ソウル **主催:** (財) 秀林文化財団、TJF **特別共催:** 秀林日本語学校韓国事務所 **助成:** (公財) 双日国際交流財団、(公財) 日韓文化交流基金 **協力:** 韓国日本語教育研究会、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、国際交流基金ソウル日本文化センター **輸送協力:** ANA **後援:** 秀林外語専門学校

引率教師: [日本側] 神農朋子(京都・私立同志社国際高等学校)、李智子 [韓国側] イ・ヨンファン(麻浦高

等学校)、パク・ヘンジャ(梅香女子情報高等学校)

参加者: 日本16名、韓国16名

内容: 日韓混成4チームでダンス練習、たこ焼きとトッポギの日韓料理体験、東大門で発表会用衣装・小物の買い物、ダンス対決発表会、振り返りの会、梨花女子大学で韓国語の授業体験

●SEOULでダンス・ダンス・ダンス2014

期間: 2014/12/25～30(12/25は日本側事前研修) **場所:** 東京、韓国・ソウル **主催:** (財) 秀林文化財団、TJF **助成:** (公財) 双日国際交流財団、(公財) 日韓文化交流基金 **協力:** 韓国日本語教育研究会、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、国際交流基金ソウル日本文化センター **輸送協力:** ANA **後援:** 秀林外語専門学校

引率教師: [日本側] 鄭賢熙(神奈川県立横浜緑園総合高等学校)、李智子 [韓国側] カク・ヨンスク(木洞高等学校)、ソン・ジョンミン(徳山高等学校) **撮影同行:** 但馬一憲((株) 講談社)

参加者: 日本16名、韓国16名

内容: 日韓混成4チームでダンス練習、ホットックと白玉団子の日韓料理体験、弘大エリアで発表会用衣装・小物の買い物、カワイイ! 귀요미(キヨミ)対決、ダンス対決発表会、振り返りの会

●SEOULでダンス・ダンス・ダンス2015

期間: 2015/8/9～14(8/9は日本側事前研修) **場所:** 東京、韓国・ソウル **主催:** (財) 秀林文化財団、TJF **助成:** (公財) 双日国際交流財団、(公財) 日韓文化交流基金 **協力:** 韓国日本語教育研究会、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、国際交流基金ソウル日本文化センター、秀林外語専門学校 **輸送協力:** ANA

引率教師: [日本側] 任喜久子(大阪府立花園高等学校)、鄭賢熙 [韓国側] イ・ジョン(紫雲高等学校)、ソン・ジョンミン **看護師:** 小島祐子

参加者: 日本18名、韓国17名

内容: 日韓混成6チームでダンス練習、カキ氷とパッピンスの日韓スイーツづくり、弘大エリアで発表会用衣装・小物の買い物、심쿵(シンクン)胸キュン対決、ダンス対決発表会、振り返りの会

●SEOULでダンス・ダンス・ダンス2016

期間: 2016/8/3～8(8/3は日本側事前研修) **場所:** 東京、韓国・ソウル **主催:** (財) 秀林文化財団、TJF **実施:** 韓国日本語教育研究会、秀林外語専門学校 **助成:** 国際交流基金ソウル日本文化センター、(公財) 双日国際交流財団 **協力:** 高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク **輸送協力:** ANA **旅行取扱:** ジェイエツチシー(株)

参加者: 日本18名、韓国18名

引率教師: [日本側] 齋藤盛午(東京・私立教池袋高等学校)、鄭賢熙 [韓国側] イ・ミホン(九賢高等学校)、ソン・ジョンミン **看護師:** 小島祐子

内容: 日韓混成6チームでダンス練習、好きなお菓子交換タイム、弘大エリアでの発表会用衣装・小物の買い物、発表会までのチームの様子を写真で見せる「私たちの物語」とダンス対決発表会、振り返りの会

▶自分でやるんですか？

協働を生み出すプログラムの開発

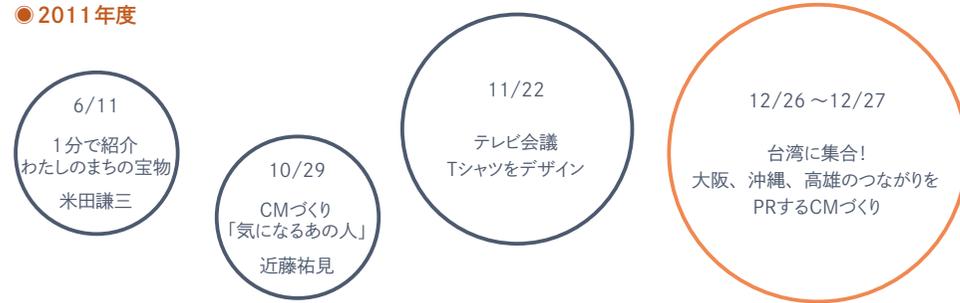
2011年度から3年間、沖縄県立向陽高等学校の協力を得て、台湾の高雄市立高雄高級工業職業学校(高校)との交流活動を取り入れた中国語の授業を実施。交流内容にそった年間の授業案・評価方法を作成。毎年、国際文科2年生の授業で実施

主催: TJF **共催(2011年度のみ):** 沖縄県高等学校中国語教育研究会ICT国際交流学習部会

メンバー: 熱田健(沖縄県立総合教育センター研究主事)、稲垣忠(東北学院大学准教授)、城間真理子(沖縄

県立向陽高等学校教諭)、玉城光師(沖縄県教育庁指導主事)、蔡旻誼(台湾高雄市立高雄高級工業職業学校教諭)、米田謙三(大阪・私立羽衣学園中学校・高等学校教諭) **協力者:** 稲原教子(アメリカン・スクール・イン・ジャパン教諭)、近藤祐見(電通CMプランナー)

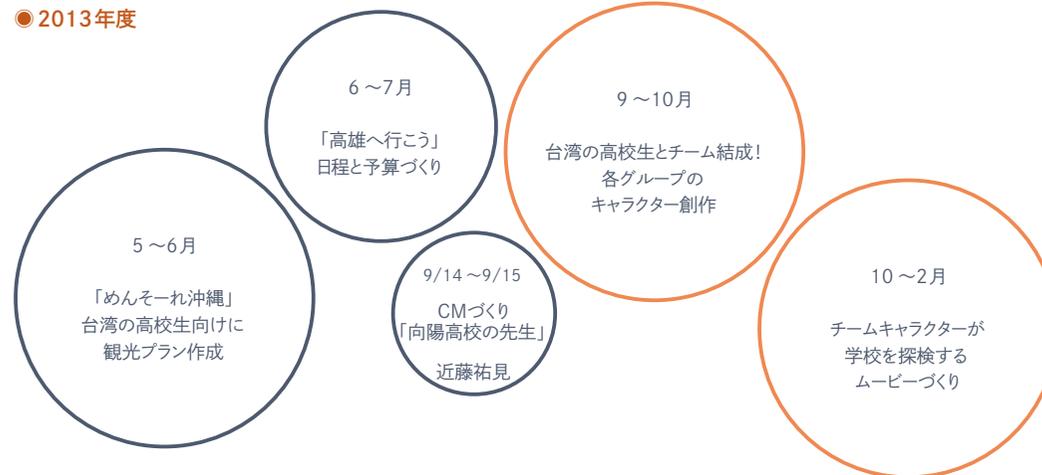
●2011年度



●2012年度



●2013年度



▶脳みそ焦げそう

CMづくりワークショップ

「伝えたいことは何か」「伝わるにはどうしたらいいか」を追求するCMの特性をいかしたワークショップを生徒向け、教師向けに実施

●生徒向けCMづくりワークショップ

期日: ①2014/9/13～14②2015/12/11～12③2015/12/22、2016/1/7、2/20 場所: ①沖縄②北海道③東京

講師: 近藤祐見((株)電通CMプランナー) 協力(①のみ): 佐保暢子(メディアコーディネーター)、西原智子(ワークショップデザイナー)

参加者: ①沖縄県立向陽高等学校国際文科2年中国語クラス25名②北海道滝川西高等学校情報ビジネス科3年生80名③東京・私立田園調布学園中等部・高等部の中高生16名、教員8名

内容: ①学校所在地である八重瀬町の魅力を町役場のホームページを通じて中国語圏の観光客向けに発信するためのCM②東南アジア圏から観光客を呼び込むために滝川市の魅力を伝えるCM③オルセー美術館公認のリマスターアートを学校に展示する「オルセースクールミュージアム@田園調布学園」の魅力を伝えるCM

●教師向けCMづくりワークショップ「私の授業のCMをつくろう」

期日: ①2015/7/18～19②2016/1/31、2/28③2016/9/4、10/2 場所: 東京

講師: 近藤祐見

参加者: 小中高の教師など①10名②12名③6名

▶つながるでつながる

世界の中高生の交流ウェブサイト

世界の中高生が日常的に交流できるSNS「つながる」を開発、運営。利用者を増やすため、国内外で学校などを訪問し、中高生や教師向けにサイトを紹介し、ワークショップを開催

●つながるウェブサイト

運営: 2007/11～2013/9 最大登録者数: 1,500名(20ヵ国、2011年度)

内容: 日本語、英語、韓国語、中国語での閲覧、書き込みが可能。中高生の安全を確保するため登録や投稿を事前にTJFが確認

●生徒向け「つながる」紹介、ワークショップ

期日	場所	学校など
2007年度		
2008/1/9	横浜	横浜市立横浜商業高等学校国際学科(1年生37名、2年生36名)
3/27	豪州・チャーチランド	チャーチランド高等学校
3/31	豪州・カリニャップ	セント・メリーズ・アングリカン・ガールズ・スクール
2008年度		
11/11	大阪	大阪府立夕陽丘高等学校国際交流委員会
11/22	大分	九州地区中国語スピーチコンテスト

11/25	鹿児島	曾於市立財部中学校
2009年度		
5/29、6/1	横浜	横浜国立大学(15名)
11/28～11/29	東京	The American School in Japan
2010/2/24	沖縄	沖縄県立浦添商業高等学校国際観光科
2/24	沖縄	沖縄県立那覇国際高等学校国際科
2010年度		
4/21	大阪	大阪府立三島高等学校
8/3、8/4	静岡	第15回日本ジャンボリーの中高一
10/19～10/21	東京	The American School in Japan
11/8	山口	ボーイスカウト山口連盟「国際交流チャレンジワークショップ」(中高生30名)
11/30	沖縄	沖縄県立向陽高等学校

内容：日本の外国語学習者や海外の中高一にサイトの紹介、体験ワークショップ実施

●教師向けつながるウェブサイト紹介

期日	場所	学校など
2007年度		
11/16～11/18	米国・サンアントニオ	ACTFL(American Council on the Teaching of Foreign Languages)年次大会
2008/2/2	韓国・大田	韓国日本語教育研究会全国役員会
3/29	豪州・マンジュラ	西オーストラリア州日本語教師会主催研修会
2008年度		
4/5	豪州・シドニー	ニューサウスウェールズ州教育省主催日本語教師研修会
4/8	豪州・ブリズベン	クイーンズランド州私立中高校の日本語教師
4/10	NZ・クライストチャーチ	クライストチャーチ地区中高校の日本語教師
4/12	NZ・オークランド	オークランド地区中高校の日本語教師
4/15	NZ・ウェリントン	ウェリントン地区中高校の日本語教師
4/19	豪州・ムーラッピン	ビクトリア州日本語教師会主催研修会
5/31	米国・サンフランシスコ	カリフォルニア州日本語教師会ベイエリア勉強会
6/4	米国・タイガード	オレゴン州中高校の日本語教師
6/7	米国・シアトル	ワシントン州日本語教師会
6/10	カナダ・バンクーバー	ブリティッシュコロンビア州日本語教師会勉強会
7/12	韓国・釜山	日本語教育国際研究大会
2009年度		
7/12	豪州・シドニー	全豪現代言語教師会(AFMLTA)全国大会
7/16	豪州・シドニー	豪州日本研究大会(JSAA)・日本語教育国際研究大会

8/29	大阪	関西圏の中高校の外国語・国際交流担当教師
12/25	大阪	大阪府立三島高等学校の教師
12/26	大阪	国際教育活動ネットワークREX-NET会員
2010年度		
6/3	東京	外国教育施設日本語指導教員派遣事業(REX)研修会
6/20	富山	高等学校中国語教育全国大会
7/6	東京	全米アジア教育コンソーシアム(NCTA)日本研修ツアー参加教師
10/30	カナダ・エドモントン	セカンド・ランゲージ・アンド・インターカルチュラル・カウンシル(SLIC)年次大会
11/2	カナダ・バンクーバー	ブリティッシュコロンビア州日本語教師会
11/3	カナダ・バンクーバー	ブリティッシュコロンビア州日本語教育振興会ワークショップ
11/5	米国・シアトル	シアトル地区の日本語教師
11/12	米国・ポートランド	オレゴン州日本語教師会

内容：日本の外国語および国際交流担当の教師向け、海外の日本語教師向けにサイトの内容と使用例の紹介、体験ワークショップ実施

▶レンズがくれたことば

世界の高校生の撮影交流

財団設立20周年記念事業として世界の高校生の写真撮影交流プログラムFocus on Japan 2007を実施

期間：2007/8/3～11 場所：宮城、東京、大阪、広島 助成：(独)国際交流基金、(独)日本万国博覧会記念機構 協力：大阪市立工芸高等学校撮影研究部、広島県立庄原格致高等学校写真部、宮城県塩釜高等学校写真部、東京・私立和光高等学校写真部 協賛：(株)講談社、(株)情報センター出版局、凸版印刷(株)、(株)ニコイメージングジャパン 後援：(株)朝日新聞社、外務省、(社)全国高等学校文化連盟、全国都道府県教育委員会連合会、全日本写真連盟、(社)日本ユネスコ協会連盟、文部科学省

アドバイザー：可越(映像プロデューサー、東京視点代表)

参加者：日本8名、中国・韓国各2名、英国・オーストラリア・ニュージーランド・米国各1名、計16名

内容：海外の高校生と日本の高校生がチームを組み、「高校生のフォトメッセージコンテスト」で協力を得た日本の4地域の高校写真部を訪問して現地の人びとの姿や暮らしを撮影。写真と文章で作品にまとめて世界に発信

▶ありのままのわたし、ここにいます

高校生の写真ウェブサイト

高校生が撮影した高校生の写真を国内外の同世代に向けて発信

●「高校生のフォトフォトフォト！」ウェブサイト

運営：2009/4～2014/3(更新終了)

内容：①「高校生のフォトメッセージコンテスト」入賞作品②The Way We Are 高校生のフォトメッセージコンテスト入賞作品から選んだ100作品の英訳③The Way We Are II よみうり写真大賞高校生部門「フォト

& エッセーの部」入賞作品と海外からの応募作品の一部④「Focus on Japan 2007」の作品⑤高校生写真ギャラリー 日本の高校生がどのようなところで、どのように暮らし、どんなことに関心をもっているのかを、高校生自身が写した写真

▶知らないことに会おうワクワク感を りんごをかじろう

初めて会えることばと文化に、その土地のお菓子や飲み物を楽しみながらふれてみる

●タイ語講座 featuring びーむ先生

期日：2013/12/14 場所：東京

講師：ピートン・シッタラット(東京学芸大学大学院生)

参加者：33名

内容：タイ人と友だちになるための表現の学習、タイ語の歌を歌う、タイのお菓子を楽しむ

●京劇ワークショップ

期日：2013/12/22 場所：東京 助成：漢語橋基金

講師：魯大鳴(京劇役者)

参加者：45名

内容：舞台化粧、セリフや立ち回りの実演と解説、衣装、化粧、伴奏楽器体験

●写真で知るブラジルの暮らし

期日：2014/6/28 場所：東京 協力：ワンダーアイズプロジェクト

講師：永武ひかる(写真家)

参加者：15名

内容：講師が撮影した写真を見ながらブラジルの多様な魅力にふれる。ポルトガル語ミニ講座

●こんなにも違う！ 中国水墨画体験ワークショップ

期日：2014/7/5 場所：東京 助成：漢語橋基金 協力：日中学院 後援：在日本中国大使館教育部、文京区

講師：唐涛(水墨画家)

参加者：33名

内容：日中の水墨画の違いを解説、水墨画の基本的な筆づかいの指導、水墨画体験

●ブータン 聖地をめぐる山旅

期日：2014/12/13 場所：東京 協力：カワカブ会

講師：小林尚礼(写真家)

参加者：25名

内容：ブータンの魅力を写真で紹介、ゾンカ語ミニ講座

●ベトナム語辞典を編む

期日：2015/7/4 場所：東京 協力：武蔵野大学出版会

講師：五味政信(一橋大学教授)

参加者：26名

内容：辞書づくりのエピソード、おもしろい例文の特徴紹介、ベトナム語ミニ講座

●暮らしの中の祈り タイの民間信仰

期日：2015/11/7 場所：東京

講師：加納寛(愛知大学教授)

参加者：18名

内容：タイの宗教、神祠を解説

●中国結びワークショップ

期日：2015/11/28 場所：東京 主催：日中学院、TJF 助成：漢語橋基金

講師：みなみりょうこ(中国結び作家)

参加者：32名

内容：中国結びの基本を作品を見せながら解説、ブローチづくりの体験

●日本のお笑い「笑えるトーク」ワークショップ

期日：2015/12/19 場所：東京

講師：IKKAN(お笑い芸人、演出家)

参加者：15名

内容：トークづくりのポイント、ネタ探しのコツを紹介、参加者が自分の体験をネタにフリートークを披露

●たいへんな時代を生き抜くためのイラン式7つの極意

期日：2016/6/25 場所：東京

講師：岩崎葉子(ジェトロアジア経済研究所)

参加者：23名

内容：イランの生活文化に関する話題を交えながらイランの人びとのコミュニケーション術について語る。ペルシア語ミニ講座

●モノ研究の魅力～ナマコとクジラ、ヤシとバナナから見える世界

期日：2016/12/17 場所：東京

講師：赤嶺淳(一橋大学大学院教授)

参加者：17名

内容：目の前のモノをたどっていくと世界の人の暮らしに結びつく、モノをフィールドワークすれば自分と世界のつながりが明らかになることについて語る

▶背中を押す贈り物

りんご記念日

隣の人とつながるためのことば(隣語)と出会った日を「りんご記念日」とし、メッセージの投稿と寄付を募るキャンペーンを実施。2014年6月からりんご記念日応援団をスタート

●寄付キャンペーン

期間：2013/6～2016/6 参加者：66名

内容：自分のりんご記念日を決め、1口3,000円の寄付とメッセージをいただき、ウェブサイト上のカレンダーに赤いりんごマークをつけ、写真も含め掲載

●りんご記念日応援団

石川直樹、石山雄太、いっこく堂、宇佐美慎吾、内館牧子、大砂嵐金崇郎、奥本大三郎、桂竹丸、河合薫、黒鉄ヒロシ、笑福亭銀瓶、田沼武能、にしゃんた、ひとみみのる、本田孝一、毛丹青、松原秀行、チャド・

マレーン、村上豊、山本容子、計20名

内容：寄付キャンペーン促進のため、作家、画家、学者、俳優、漫画家、スポーツ選手、落語家などさまざまな分野で活躍する方が応援団としてキャンペーンに参加。記念日はカレンダー上に緑のりんごマークをつけた

▶知ってください、私たちのこと 広報

印刷物、メルマガ、SNSを使ってTJFの活動、事業を発信

●『国際文化フォーラム通信』(P41参照)

●Facebook公式ページ

運営：2012/6/22～ ファン数：2,200名(2017年3月現在)

内容：事業開催のお知らせ、プログラム実施現場からレポートを配信

●メルマガ「わやわや」

配信：2014/6～、月2回 登録者数：3,800名(2017年3月現在)

内容：TJF、関係団体の事業の告知、固定概念を覆すような経験・活動をしている人の取材記事「んじゃめな！」のコーナー、スタッフのつぶやき

●インターネットラジオ「ごちそうリミックス」

配信：2016/1～12 協力：青木ゆりこ(各国郷土料理研究家)

内容：「世界中の食文化を通して、海外に目を向けてもらおう、視野を広げてもらおう」のコンセプトで、日本の旬の食材を入口に、その食材を使った世界のおもしろい料理、食習慣の違いを話題にして番組を構成

●『事業報告』

発行：1988～2013、年1回刊 配布先：国内の外国語教育、日本語教育、国際理解教育、文化交流などに携わる関係者・機関

内容：TJFの各年度の事業の報告と、複数年度実施した事業のまとめを特集として掲載、A4版で発行。
2006-2007(日本語版・48ページ、1,000部 英語版・28ページ、500部)、2007-2008(日本語版・56ページ、1,000部 英語版・32ページ、500部)、2008-2009(日本語版・48ページ、1,000部 英語版・8ページ、100部)、2009-2010(日本語版・36ページ、500部 英語版・韓国語版・中国語版・8ページ、30部)、2010-2011(日本語版・32ページ、500部 英語版・韓国語版・中国語版・12ページ、100部)、2011-2012(日本語版・28ページ、800部 英語版・韓国語版・中国語版・10ページ、300部)、2012-2013(日本語版・28ページ、800部 英語版・韓国語版・中国語版・10ページ、100部)

●『CoReCa』(P42、P49参照)

顧問会

第1回 2011年6月15日 講師：松岡紀雄(神奈川大学名誉教授)／第2回 2012年3月4日 講師：當作靖彦(カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)／第3回 2013年3月5日 講師：鈴木孝夫(慶應義塾大学名誉教授)／第4回 2015年3月14日 講師：山田均(名桜大学教授)／第5回 2016年3月16日 講師：渡部淳(日本大学教授)／第6回 2017年3月14日 講師：木村護郎(上智大学教授)

刊行物 2007-2016

①発行形態、発行年月 ②判型、ページ数、部数、配布先 ③内容

刊行物



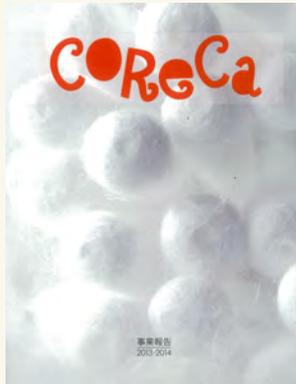
国際文化フォーラム通信

- ① 季刊、1987年～2014年8月「no.100+」発行後、休止
- ② A4判、16ページ、日本語、5,000部。no.100のみA4判変型、40ページ、7,000部、英語版、中国語版、韓国語版を作成。no.100+、A4判変型、4ページ、7000部、英語版、中国語版、韓国語版を作成。支援者、国内の外国語教育・日本語教育・国際理解教育・文化交流などに携わる関係者・機関
- ③ TJFの事業や事業に関連するテーマを特集



事業報告

- ① 年刊、1998年～2013年
- ② A4判、日本語版28～56ページ、500～1,000部、英語版、韓国語版、中国語版8～32ページ、30～500部(p.40参照)。支援者、国内の外国語教育・日本語教育・国際理解教育・文化交流などに携わる関係者・機関
- ③ TJFの各年度の事業の報告と、複数年実施した事業をまとめた特集



CoReCa (コレカ)

- ① 年刊、2014年～
- ② A4判変型、34～40ページ、4,500～6,000部。支援者、国内の外国語教育・日本語教育・国際理解教育・文化交流などに携わる関係者・機関
- ③ TJFの各年度の事業の報告と、TJFが関わる分野で話題になっていることをテーマにした特集を掲載。ポップアップや折り込みなどを使い、見てわかる「事業報告」をめざし創刊



小溪

- ① 季刊、1999年4月～2011年1月、No.47をもって休刊
- ② A4判、4～8ページ、1,000部。中国語教育に取り組む日本の高校の中国語教師、大学の中国語教育関係者など
- ③ 中国語教師による「中国語との出会い」、授業に役立つ素材、研修関連の情報を提供



ことばと文化 II

小中高校生の相互理解をめざして

- ① 2008年3月
- ② B5判、248ページ、2,000部。支援者、国内の外国語教育・日本語教育・国際理解教育・文化交流などに携わる関係者・機関
- ③ 財団設立から20年を振り返り、特に直近10年に実施した事業をまとめた年史



ひだまり

- ① 季刊、1999年10月～2011年9月、No.48をもって休刊
- ② A4判、8ページ、1,800部。中国の中高校の日本語教師など
- ③ 日本語や日本語教授法などに関連するコーナーで構成していたが、『Takarabako』創刊に伴い、同じ内容を中国向けに中国語と一部日本語で掲載



であい、つながる

- ① 2011年11月
- ② 新書判、48ページ、2,000部。支援者、国内の外国語教育・日本語教育・国際理解教育・文化交流などに携わる関係者・機関
- ③ 事業でであった「ことばの力」を代弁するエピソード7篇(励ます、自信、であい、共感、発見、触れる、つながる)を掲載



Takarabako

- ① 季刊、2004年9月～2011年9月、No.29をもって休刊
- ② A4判、8ページ、6,000部。英語圏の小中高校で日本語教育、日本理解教育、国際理解教育に携わる教師など
- ③ 日本で話題になっていることをテーマに取り上げ、さまざまな角度から紹介するとともに、そのテーマに関連する小中高校生のインタビュー記事を掲載することを目的に創刊



The Way We Are 2006 伝えたい私たちの素顔

- ① 2007年7月
- ② A4判変型、64ページ、3,000部。コンテスト参加者・関係者など
- ③ 2006年度に実施した「高校生のフォトメッセージコンテスト」に入賞した作品を中心に応募写真とメッセージを掲載



外国語学習のめやす2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言

- ① 2012年3月
- ② A4判、112ページ、5,000部。中国語と韓国語教育実施校、教育委員会、大学の外国語教育関係者など
- ③ 外国語教育の新たな役割の提言と、そのための外国語教育の内容と方法
(公財)かめのり財団、(社)東京倶楽部の助成を受けて制作・出版



外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言

- ① 2013年1月 定価：本体953円(税別)、発売：TJF
- ② A4判、114ページ、3,000部
- ③ 2012年に発行した『外国語学習のめやす2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』で15のテーマ別に示したコミュニケーション能力指標をレベル別に再編集し、ブックインブックとして加え、市販化した



外国語学習のめやすーロシア語教育用ー

- ① 2016年3月
- ② A4判、214ページ、200部。高校と大学のロシア語教育関係者
- ③ 『外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』の一部を取り出してロシア語教育用に、林田理恵科研プロジェクトと横井幸子科研プロジェクトと共同で刊行



好朋友 教学実践指南

- ① 2014年3月
- ② A4判、138ページ、300部。中国の中高校の日本語教師
- ③ 中国の第二外国語用日本語教材『好朋友』第1巻各課の指導用資料と授業案などを掲載
(公財)三菱UFJ国際財団の助成を受けて制作・出版



好朋友 教学実践指南 極

- ① 2014年8月
- ② A4判、244ページ、300部。中国の中高校の日本語教師
- ③ 中国の第二外国語用日本語教材『好朋友』第2～5巻各課の指導用資料と授業案などを掲載
(公財)三菱UFJ国際財団の助成を受けて制作・出版

国際文化フォーラム通信 特集

no.74 2007/4

高校生から届いた想い

1997年から2006年まで実施した「高校生のフォトメッセージコンテスト」の参加者、延べ約5,300人から寄せられたメッセージで印象的だったものを紹介



no.75 2007/7

**であいフォトエッセイ
カフェへようこそ**

「であいフォトエッセイカフェ」ウェブサイトへ寄せられた200人を超える世界の中高生たちが綴ったフォトエッセイから毎日の生活、家族、友だちのこと、将来の夢などを紹介



no.76 2007/10

**高等学校の
外国語教育への提案**

高校と大学の中国語と韓国語の教師が、欧米の事例などを参考にし、『高等学校の中国語と韓国朝鮮語学習のめやす(試行版)』を作成した。主な内容と作成に関わった教師の声を紹介



no.77 2008/1

撮影を通じた出会い

撮影交流プログラム「Focus on Japan 2007」では、海外の高校生8人と日本の高校生8人が4チームに分かれ4都市を訪問し、そこに暮らす人びとの姿を写真と文章で表現した。その作品と、参加者が何を感じたかを紹介



no.78 2008/4

**中国語を学ぶ仲間
中国に行こう**

2007年夏、高校生の中国短期研修が実現した。91名の高校生が10日間で北京と大連を訪問。参加者が見たことや考えたこと、研修前と後の中国観の違いを紹介



no.79 2008/7

**知りたい日本、
伝えている日本**

海外で日本語を学ぶ中高生が知りたい日本は何か、TJFはそれに答えられていたのか、独自性を打ち出せていたのかをリサーチしたとめた



no.80 2008/10

韓国語っておもしろい!

2008年に始まったクムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会には500人近い参加があった。入賞した高校生はなぜ韓国語を学び、どんな思いを抱いているのかを紹介



no.81 2009/1

**21世紀を担う子どもたちに
身につけてほしいもの**

日本語教育国際研究大会で初めて「初等中等教育の日本語教育」のパネルセッションが設けられ、TJFがコーディネートした。この発表をもとに21世紀において外国語教育に期待されているものを探った



no.82 2009/4

**子どもの自己表現力を
高めるために**

「生きる力」を育むために、思考力、判断力とともに表現力を育成することに重点が置かれている。実践例を紹介しながら、どのような表現力をどうやって育てればいいのかを考えた



no.83 2009/7

【英語+1】のすすめ

日本に暮らす外国人の人びとが年々増え、さまざまな言語的・文化的背景をもつ人びとと交流することも多くなっている。すでに英語以外の外国語教育に取り組んでいる高校の先生方に、複数のことばを学ぶ意味を語ってもらった



no.84 2009/10

ネットワークの力

さまざまな分野・領域で、共通の問題意識や使命感を核に生まれたネットワークは大きな力になる。学校の教師が関わるネットワークの事例を紹介し、その意義と役割について考えた



no.85 2010/1

大連物語

英語の勢いに押され、初等中等教育における第一外国語としての日本語教育が衰退していた中国・遼寧省大連市で日本語が第二外国語として導入されることになった。その過程と関わった人々を紹介



no.86 2010/4

「つながる」で、つながる

国内外の教師が、外国語や異文化理解の授業、課外活動などで、「つながる」を活用した。中高生がどのようなやりとりをし、どんな気づきがあったのか、また教師の取り組みと課題について紹介



no.87 2010/7

『好朋友』に託すメッセージ

中国の中学校向け第二外国語用日本語教材『好朋友』はストーリー漫画を主軸におき、教育理念として「人間関係の温暖化」と「多文化共生」の二つを掲げた。その理念をどのように教科書に入れたのかを紹介



no.88 2010/10

海外から届いた高校生の素顔

「高校生のフォトメッセージコンテスト」を継承する形で、2008年度により写真大賞高校生部門に「フォト&エッセーの部」が開設され、海外の高校生も参加できるようになった。海外から届いた作品と、それを見た日本の高校生の感想を紹介



no.89 2011/1

**21世紀に求められる
外国語教育**

コミュニケーション力は、21世紀の多言語多文化社会で生きていくために必要な力の一つである。コミュニケーション力を育てるために効果的な外国語教育の内容と方法を考えた



no.90 2011/4

学びを深める交流

異なる背景をもつ相手と関わり、一緒に何かをつくる体験は、子どもたちがグローバル社会で生きていく力を身につけることにつながる。教師が何をめざし、どのように交流活動をつくっているのか。また、子どもたちは何を学ぶのかを事例から紹介



no.91 2011/7

小さな発見 大きな学び

TJFが中国で実施する「サマーキャンプ」は、中国語を学ぶ日本の高校生90名が参加し、10日間にわたり、中国語の授業や家庭訪問、同世代との交流などを体験する。彼らは何を見て、何を感じ、考えたのか。日々ノートに綴った「つづき」を紹介



no.92 2011/10

ことばは人をつなぐ

TJFが現場の先生と取り組んできた「外国語学習のめやす」づくりでは、ことばの学びを通じて、他者の発見、自己の発見、つながりの実現をめざしている。外国語の学びはどうあるべきなのか、授業をどう変えていったらいいのか、考え方が手がかかりを紹介



no.93

2012/1

ICTで変える学び

情報化社会を生きていくために、学力や学びの捉え直しが始まっている。新しい学びのために、電子黒板やPC、その他のICTが大きな役割を担い始めている。その変化を実践例を挙げて紹介



no.98

2013/4

人をつなぐ「ともだち」日本語

TJFと大連教育学院が共同で制作した日本語教材『好朋友』が出版されて3年半。多文化社会に生き、人と人との関係をつくることばの学びを提唱するこの教材は、教室に何をもたらすことができるのか。『好朋友』が日本語の学びに与える効果を検証



no.94

2012/4

新しい公共を担う

NPO法の施行後、新しい公共の担い手が数多く生まれ、その活動はますます活発になり、大きな役割を果たしている。公益を担うとはどういうことなのか、公共のためにどうあるべきなのかを改めて考えた



no.99

2013/7

ここにある危機

『外国語学習のめやす』の監修者、當作靖彦カリフォルニア大学サンディエゴ校教授が、閉塞化した日本社会を打ち破るために何をなすべきか、さまざまな分野の第一線で活躍する方々に話を聞いた



no.95

2012/7

未来を生きぬく力

情報通信技術の飛躍的進歩で、人は、時間、距離、場所の壁を軽々と越えられるようになり、社会が変化するスピードも、ますます加速している。これからの時代を生きぬくために必要な力は何か。独自の道を切りひらいている4人にインタビュー



no.100

2014/1

I. 歴代事務局長インタビュー

初代から2016年までの5人の歴代事務局長が、在任時を振り返り、事業にかけた思いとプロジェクトの意義について語った



no.96

2012/10

解をつくりだす

ひとりがリーダーとなり決断して答えを出す時代はすでに終わりを告げた。この時代に必要な力は何か、その力を育むにはどうしたらいいのか実践例を交えて紹介



no.100+

2014/8

II. 10×10+10・・・

理事長、常務理事のほか、10人のスタッフが10の質問に答え、その素顔を見せた



no.97

2013/1

〈考える〉を刺激する

人の生き方に迫ることが読み手の〈考える〉を刺激する。そう考え、「くりっくにつぼん」ウェブサイトリニューアルした。新しい試みとして、明治大学国際日本学部のゼミと連携し、「くりっくにつぼん」のコンテンツづくりを行った、その過程を追った



no.100+

2014/8

新スタッフを迎え、同じく10の質問で自己紹介。100号を包む形で4ページの100+を発行



事業報告特集

CoReCa 特集

2006-2007



高校生のフォトメッセージ コンテスト10年の歩み

1997年から2006年まで開催した「高校生のフォトメッセージコンテスト」。身近な高校生を主人公にして5枚の写真と文章で紹介してもらった。コンテストの概要と成果、課題を報告

2013-2014



外国語教育に新しい役割を

外国語教育には、どんな役割があるのか、3名の考えを紹介。大津由紀雄・明海大学教授、石森広美・宮城県仙台二華高等学校教諭、西村パーク葉子・オーストラリア・ニューサウスウェールズ州教育地域社会省日本語教育専門家 ▶A4変、34頁、5,500部

2014/11

2007-2008



日本語教育支援のあり方を模索して

TJFは東北三省(吉林省、黒龍江省、遼寧省)で、1996年から2002年まで「中国中高校日本語教師研修会」を、2004年から2006年まで「小学校日本語教師研修会」を開催した。これらの中国における日本語教育事業についてまとめてレポート

2014-2015



アクティブラーニングで何が変わるのか

アクティブラーニングが導入された背景とめざすことについての総論と、すでに実践している2校の取り組みを紹介。溝上慎一・京都大学高等教育研究開発推進センター教授、川妻篤史・桐蔭学園教諭、山田英雄・かえつ有明中学高校教諭 ▶A4変、36頁、4,500部

2015/8

2011-2012



外国語教育に新たな役割を

2006年に文部科学省の委嘱事業として始まった「高等学校における中国語と韓国朝鮮語の目標・内容・方法に関する研究」は『外国語学習のめやす2012 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』(2012年3月)に結実した。その6年間を振り返った

2015-2016



21世紀に必要な力を考える

新しい能力を育てる深い学びについての総論と実践を紹介。松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター教授、田中容子・京都府立園部高等学校指導教諭、カメダクインシー・玉川大学学術研究所K-16一貫教育研究センター講師 ▶A4変、40頁、6,000部

2016/9

2012-2013



TJFの交流プログラム

TJFは海外の日本語学習者と日本の同世代がコラボレーションを体験できる場を学校の内外につくってきた。日中の高校生サマーカーンブと、沖縄県の高校の中国語授業に交流を取り込む試みをレポートした

事業報告
第1号

英語版刊行

新しく韓国語版・
中国語版発行

公益財団法人に
認定

見てわかる
事業報告
『CoReCa』創刊

(公財) 国際文化フォーラム発行

